

がん相談業務 (院内におけるピアサポート)

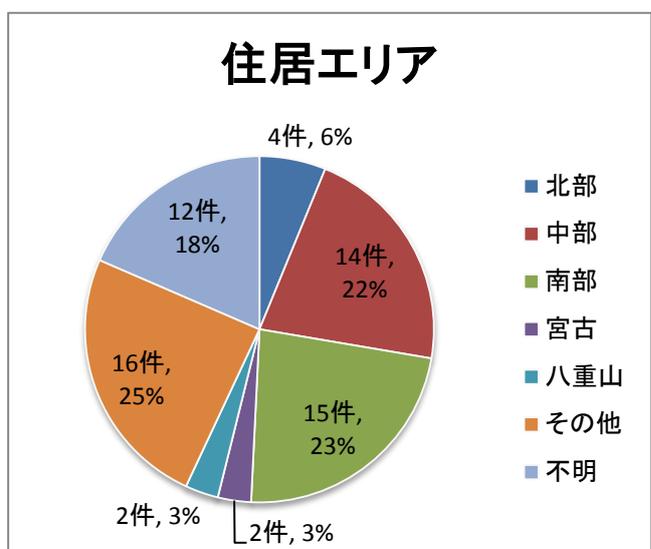
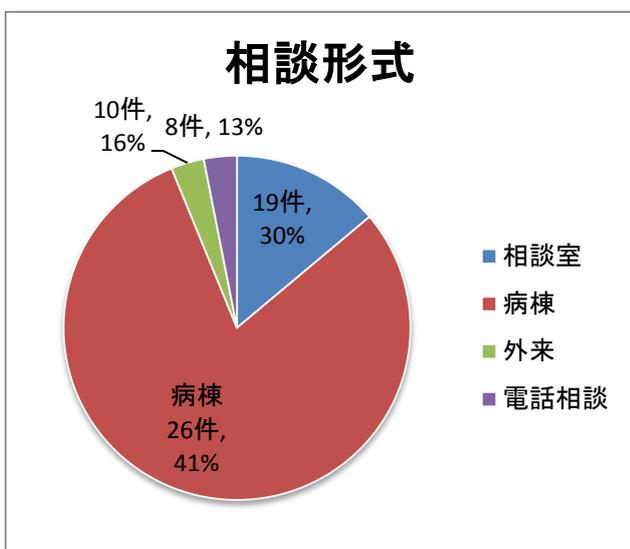
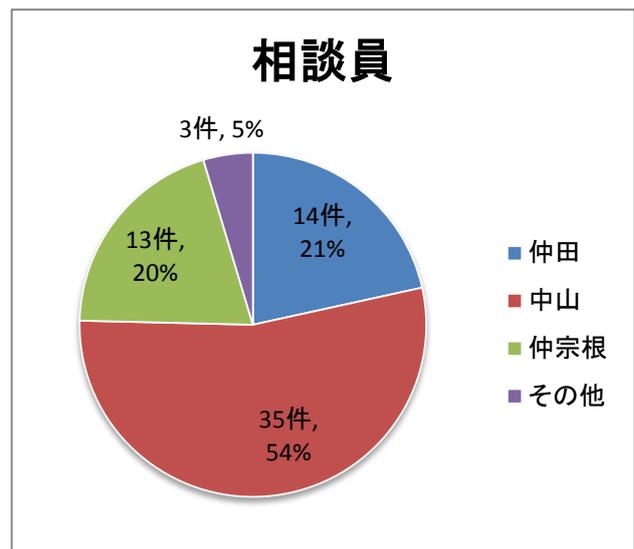
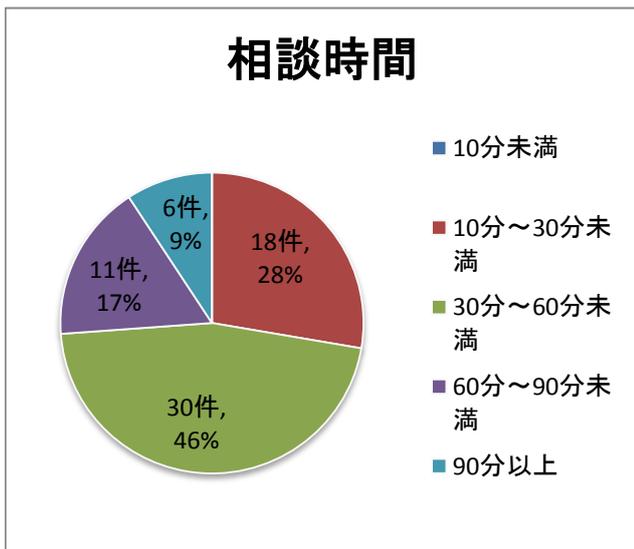
相談記録シート集計報告

実施期間：平成27年10月1日～平成27年12月31日

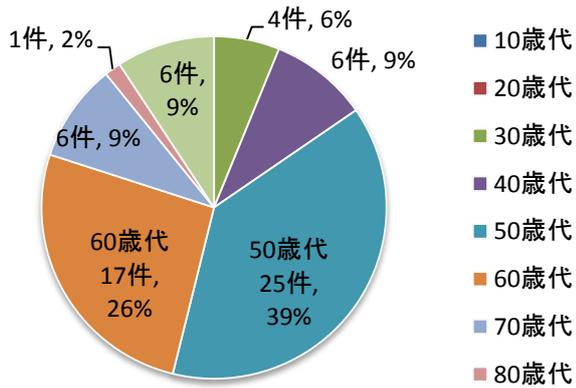
がん相談業務（院内におけるピアサポート）集計結果

- 調査対象期間 平成27年10月1日～平成27年12月31日
- 調査件数 65 件

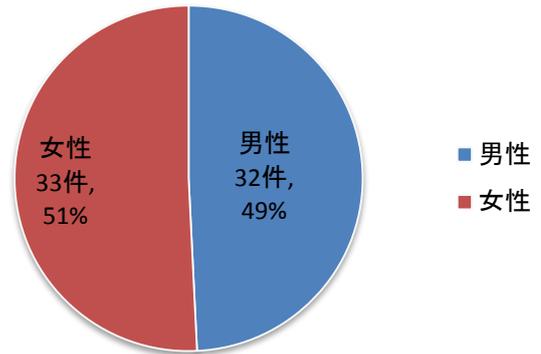
相談月	件数
10月	15
11月	24
12月	26
合計	65



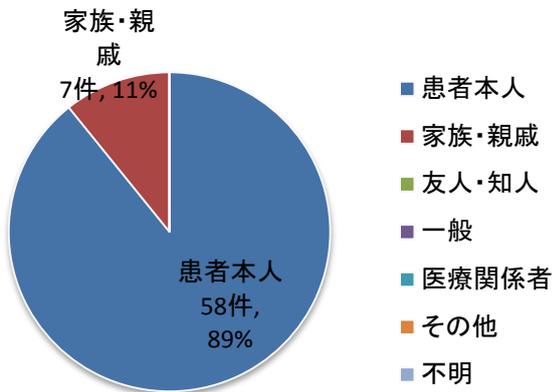
相談者の年代



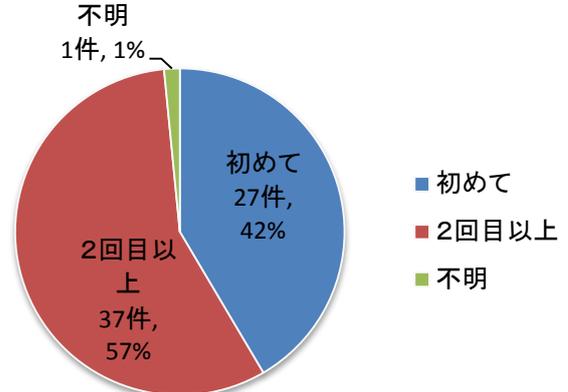
相談者の性別



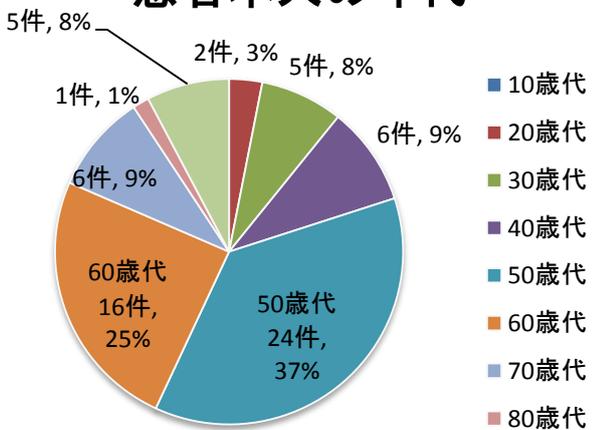
相談者のカテゴリー



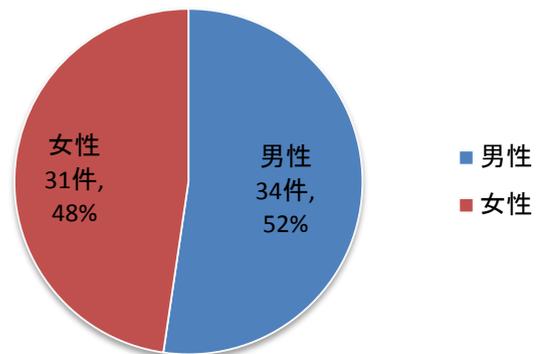
相談者の利用回数



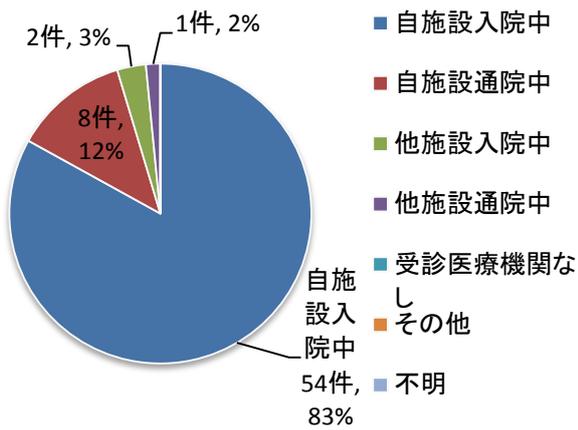
患者本人の年代



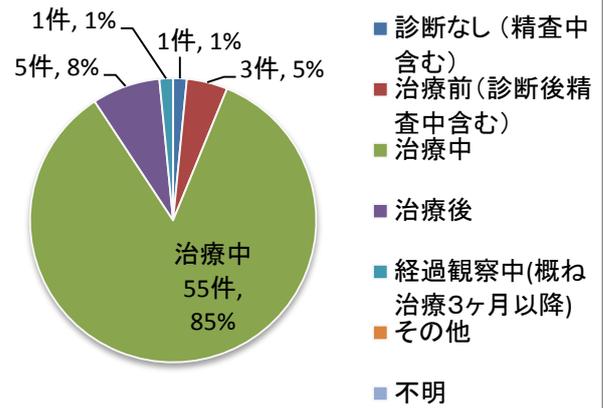
患者本人の性別



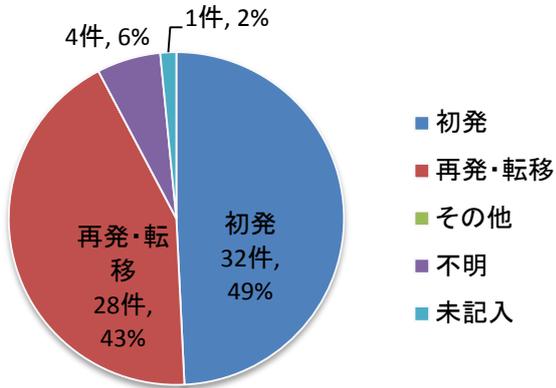
受診状況



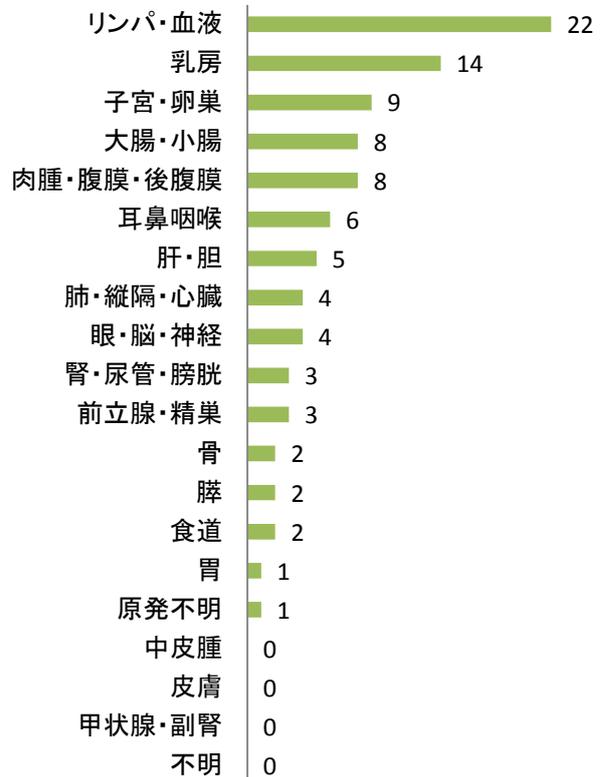
現在の治療状況



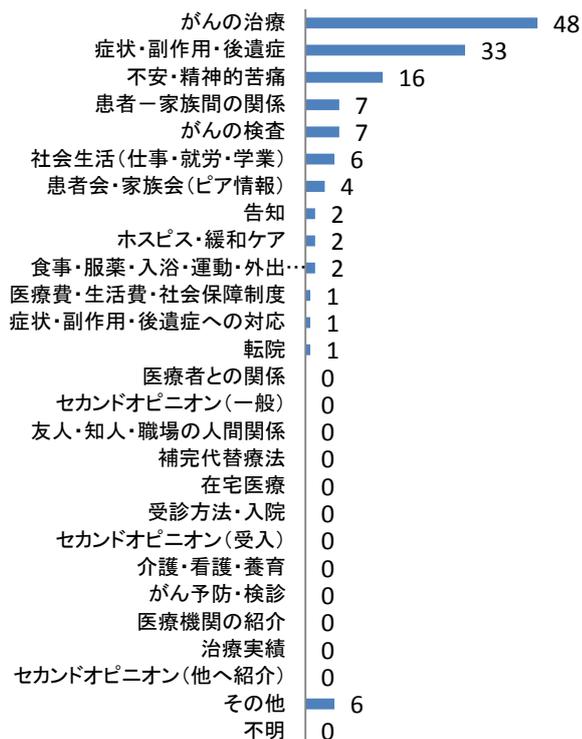
がんの状況



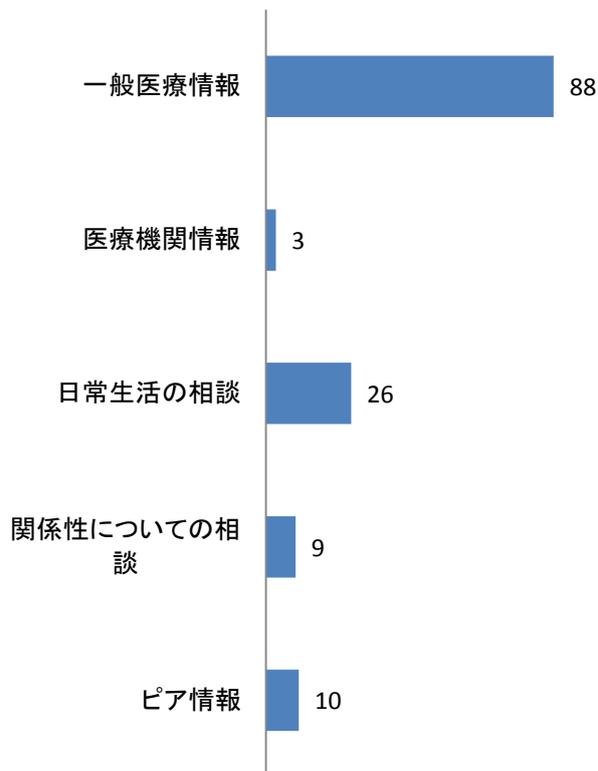
がんの部位



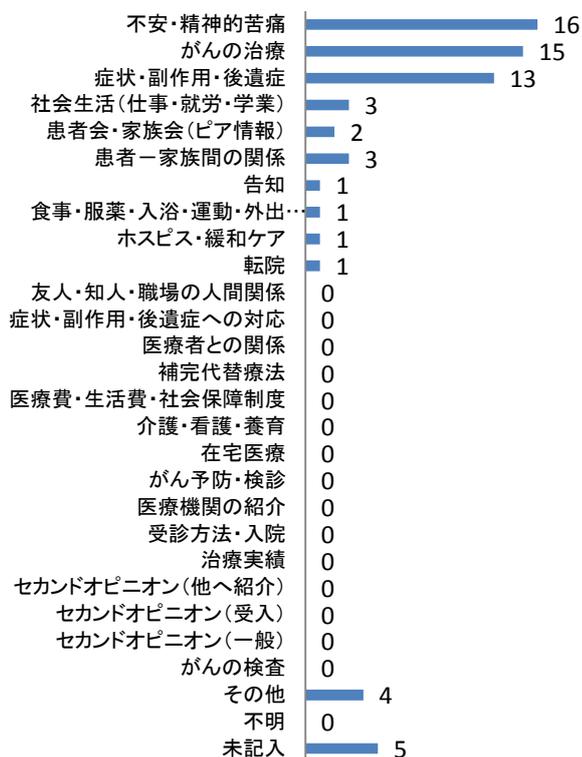
相談内容 (実施したもののすべて)



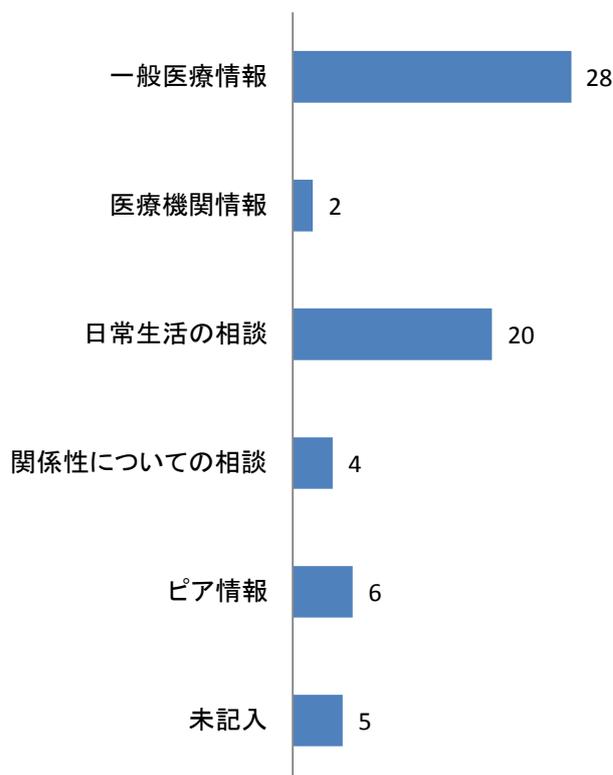
相談内容 (実施したもののすべて・大項目別)



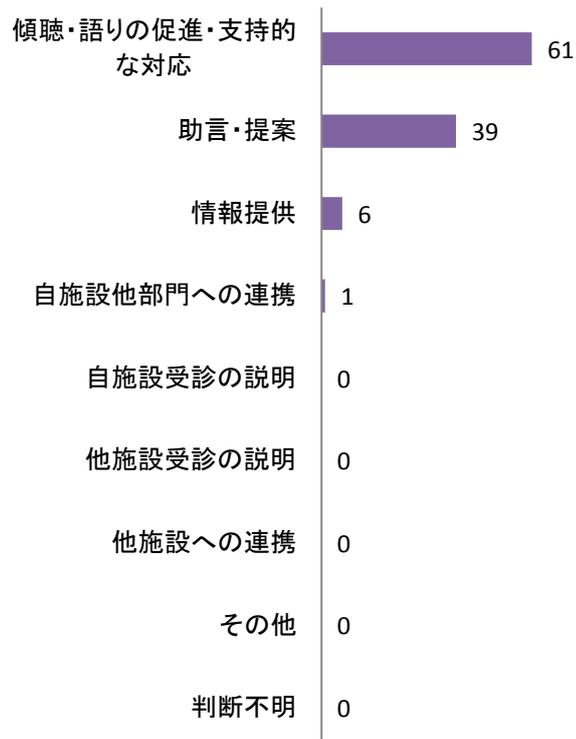
相談内容 (最も比重の高いもの)



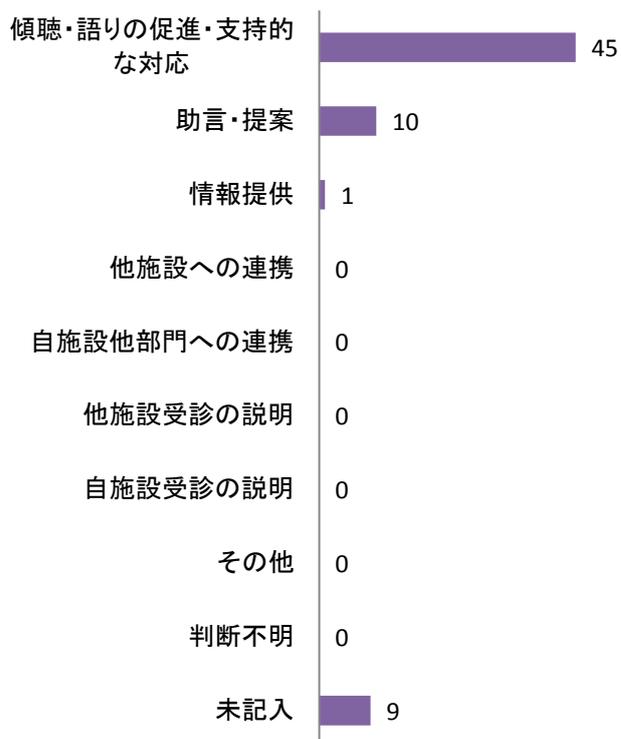
相談内容 (最も比重の高いもの・大項目別)



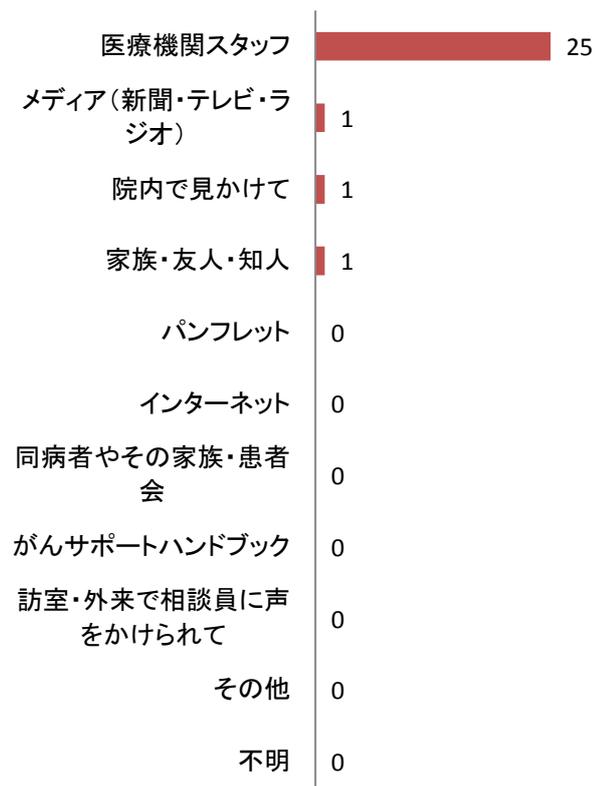
対応内容 (実施したもののすべて)



対応内容 (最も比重の高いもの)



認知経路



先進地に学ぶがんピアサポート 開催報告

実施日：平成 27 年 10 月 9 日（金）

沖縄県地域統括相談支援センター 主催

開催概要

1. 名称 先進地に学ぶがんピアサポート
2. 日時 平成27年10月9日(金) 18:30~20:30
3. 場所 琉球大学医学部附属病院 臨床講義棟1階
4. 対象 医療関係者
5. 定員 約50名
6. 参加費 無料
7. 目的 相談支援事業(がんピアサポート)の先進地である千葉県と愛媛県の好事例を学び、医療者側からの効果的なピアサポートの活用法を考える。
同時に県内での活動実績と現状についても学ぶ。
 - (1) 千葉県の事例
NPO 支えあう会「α」副理事長
千葉県がんセンターがん相談支援センターがん相談員
野田真由美 氏
 - (2) 愛媛県の事例
NPO 法人愛媛がんサポートおれんじの会 理事長
松本陽子 氏
 - (3) 沖縄県の事例
サバイバーナースの会「ぴあナース」代表
豊見城中央病院 ピアカウンセリング・ナース
上原弘美 氏
8. 主催 沖縄県地域統括相談支援センター
9. 共催 沖縄県がん患者等支援事業
10. 後援 沖縄県

プログラム

開始	終了	時間	内 容	講 師 等、 担当者
18:00	18:30	30分	受付、会場準備	
18:30	18:35	5分	開会のあいさつ	沖縄県地域統括相談支援センター長 増田昌人
18:35	18:55	20分	千葉県の事例	NPO 支えあう会「α」副理事長 千葉県がんセンターがん相談支援センター がん相談員 野田真由美 氏
18:55	19:15	20分	愛媛県の事例	NPO 法人愛媛がんサポートおれんじの会 理 事長 松本陽子 氏
19:15	19:35	20分	沖縄県の事例	サバイバーナースの会「ぴあナース」代表 豊見城中央病院 ピアカウンセリング・ナー ス 上原弘美 氏
19:35	20:25	50分	総合討論	・野田真由美 氏 ・松本陽子 氏 ・上原弘美 氏 ・琉球大学医学部附属病院 副看護部長 大嶺千代美 氏 ・沖縄県立宮古病院 外科病棟看護師長 金城春美 氏 進行 増田昌人
20:25	20:30	5分	閉会のあいさつ	沖縄県地域統括相談支援センター長 増田昌人

開催内容

【参加者数】

29名（看護師、社会福祉士、理学療法士、作業療法士、薬剤師、ピアサポーター、学生）

【スタッフ】

講師 3名

パネリスト 5名（講師 3名含む）

沖縄県地域統括相談支援センター センター長、事務員 1名

琉球大学医学部附属病院がんセンター 社会福祉士 1名、事務員 2名

【振り返り】

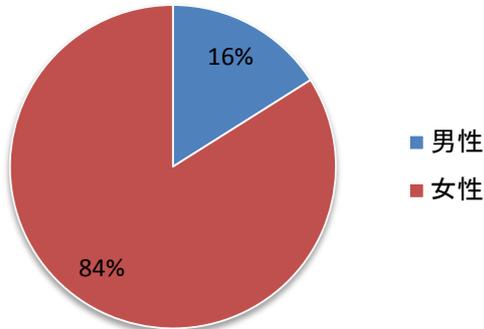
- ・参加者の集まりが悪かったことから10分遅れでの開始となった。
- ・講演から総合討論までほとんど席を立つ人が居なかったことから、参加者のピアサポートへの関心が高いことが伺える。
- ・元々関心のある方の来場がほとんどであることから、医療者のピアサポートに関する関心の無さが浮き彫りになった。
- ・看護学校へ案内したこともあり、学生の参加があったことは良かった。
- ・講演はわかりやすく参加者も熱心に聞き入っており、メモを取る姿も見受けられた。
- ・総合討論では主にピアサポートをしている講師の方への質問が集中したが、現職看護師へも患者への紹介の仕方やピアサポートの有益性などを問うものがあった。

【今後の課題・反省点】

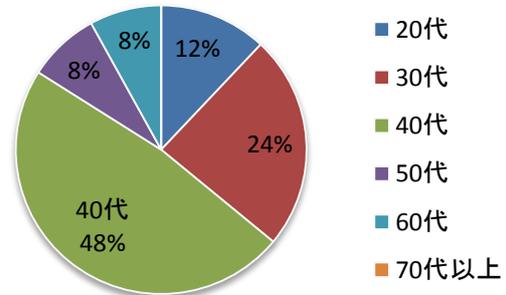
- ・関心の無い医療者に対する周知の方法を考える必要がある。
- ・患者から求められるようになれば無関心ではいられなくなると考えられることから、患者及びその家族への周知徹底を図ることも必要である。
- ・学生の参加があったことから各種医療系学校でのピアサポート勉強会も有効だと思われる。その際は学校の協力と理解が不可欠である。
- ・他の病院からも参加しやすいように開催場所・時間を再度検討する必要がある。
- ・参加できなかった方のために録画映像を地域統括相談支援センターで観ることができるような環境作りを検討してもいいのではないか。

アンケート集計結果（回答 25 名）

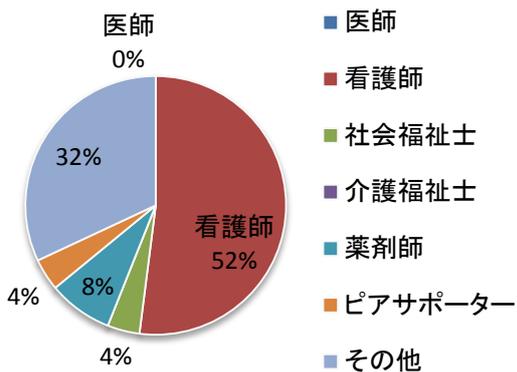
Q1. 性別



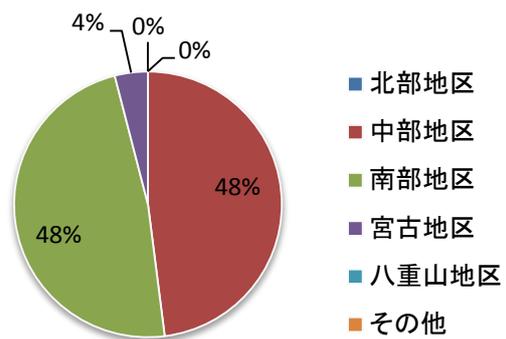
Q2. 年齢



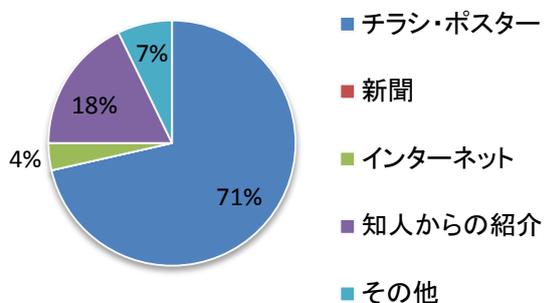
Q3. お立場



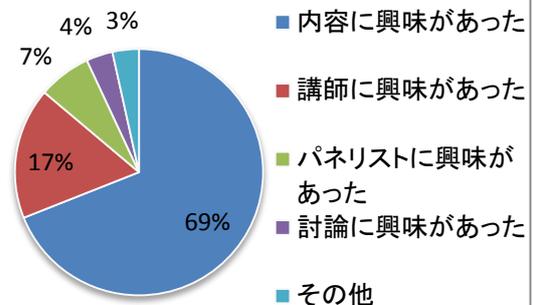
Q4. お住まい



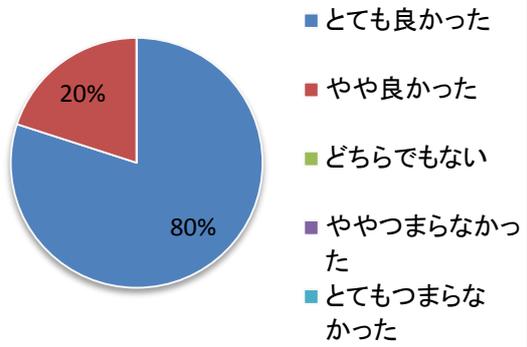
Q5. 認知経路



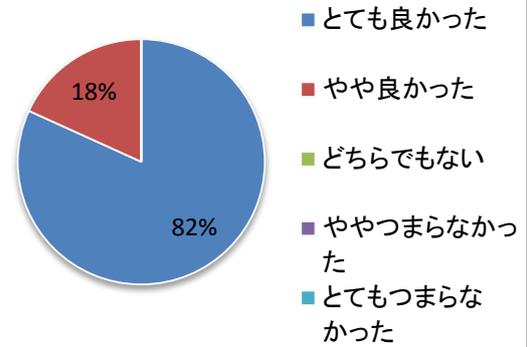
Q6. 参加しようと思ったきっかけ



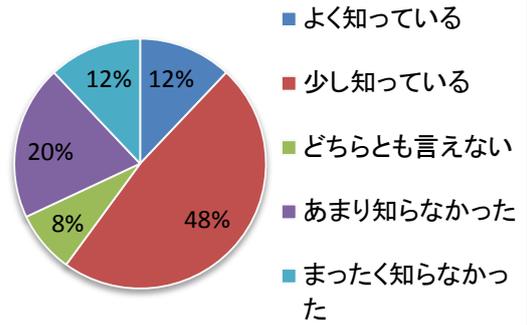
Q7. 講演内容



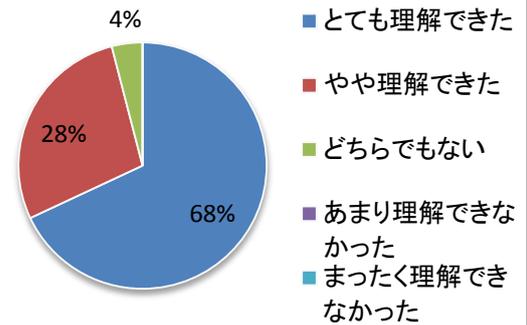
Q8. 討論内容



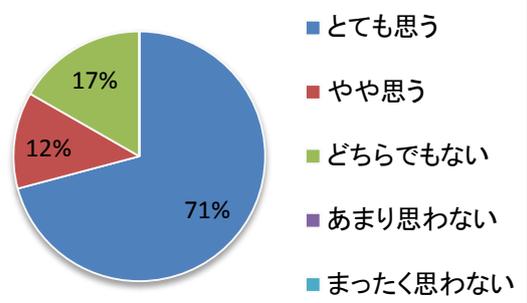
Q9. ピアサポート活動の認知度



Q10. ピアサポート活動の理解度



Q11. ピアサポートを利用したいか



Q12. なぜそう思うか(「Q11. ピアサポートを活用したいか」を受けて)

- ・ピアの力で患者さんやご家族が救われるから。
- ・ピアだからできること「体験・経験したことを共感できる」という点で！！それは本当に貴重な経験だと思うし誰にもかえられない役割だから。
- ・頼れる存在だと思うから。
- ・同じ立場である方からのサポートは、当事者にとって心強く生活する上でも活力につながると思う。
- ・患者さんの気持ちに寄り添うことが今の現場ではなかなか実感できない。ピアサポートを活用することでその部分が。
- ・体験者の話は、患者さんががんと向き合っていく時のヒントになると思います。
- ・患者さんの不安やストレスの解消になればいいと思うので。
- ・患者にしかわからない気持ちがあるから。医療者には言えない事がある。同等の立場だから、立ち位置が一緒。
- ・患者さんの精神的苦痛をいくらかでも和らげることに繋がればと思うので。
- ・患者さんが同じ症状がある患者さんのアドバイスや共感した事を話してくれたので・・・
- ・相談内容の項で「副作用、症状への対応」が多いことについて薬剤師も何か手伝えることがないかと思いました。
- ・まだ自分自身がしっかりとわかっていないので。
- ・体験者の持つエネルギーが必要だと思うから。
- ・ピアサポートについて知らなかったので知ることができて良かったが、「がん」になった時、そのことを他人に話すことができるのか自身がない。
- ・体験者だからこそ同じ体験者へ真の理解者、支援者となれると思うので。
- ・患者同士でないと話せないことも多いです、この前ピアサポートに参加した時に同じ立場で話せる人の存在の大切さを知りました。患者さんの気持ちの支えとなる大切な会だと思っています。
- ・ピアサポーターならではの視点、考え方などとてもわかりやすく必要性を感じました。
- ・おもしろそうだから
- ・気持ちをくんでもらえると安心する。

Q13. どのような場面でピアサポートを活用したいと思うか

- ・あらゆる場面で。
- ・自分の身近な人ががんになった時。ピアサポートを人に紹介したい時。医療者として、患者さんにとってどのようなサポートができるか学びたい時。
- ・やはり病気で悩んでいる方へ紹介したい。在宅で療養されている方へ。
- ・メンタル面で問題がある方の支援に難渋することがよくある。
- ・これからどうやって生活していくのか、自分はどうなるのかと患者が知りたがっている時に活用したいと思いました。

- ・在宅に戻られてから、病院で治療については相談できても、メンタル面の話や同じ病気になった方に共感してほしいと思う時に活用できればいいなと思います。
- ・意思決定支援
- ・退院後、在宅で過ごしている場合。
- ・患者さん、家族のことを理解すること。
- ・自分の家族が癌を患った時。
- ・身内や大切な人の身に何かあって、決めかねる時に活用したいと思うのかもしれない。
- ・特別な場ではなく、普通の生活の中の方が利用しやすいと思います。パントリーで何か作業でもしながら、患者同士集まって話ができる場所、というふうな場面で活用できたらいいのではないかと思います。
- ・必要とする方への連携
- ・まだ分からない
- ・どうしていいかわからなく、自分の気持ちを整理したいとき。

Q14. ご意見・ご感想

- ・ゲストの方の話がとても関心がもてました。県医師会館などアクセスしやすい所での開催でも良かったのでは？
- ・時間を守るように。
- ・愛媛の松本さんのお話しはたいへん分かりやすく、頭に入ってきます。こういう活動を広めていくにあたっては松本さんには、是非もう一度来県して頂きますようにお願いします。
- ・ゆんたく会へ参加したいです。
- ・ありがとうございました。今日参加できて本当によかったです。
- ・大変貴重なお話を聞く機会を与えて下さりありがとうございました。ピアサポートについて初めて知ることができた。医療関係者だけでなく、学生対象にした話でもきいてみたい。
- ・がん拠点病院という割に、Nrs の参加が少ない。もっと関心を持ってもらいたい！！
- ・ピアサポートの役割、メリット、現状と課題を知ることができました。同時に、医療との連携の難しさ、サポーターの立場とは何なのかについて考えることができました。とてもいい時間でした。ありがとうございました
- ・ピアサポーターについて活動や姿勢を知り正直に感動しました。
- ・おもしろかった。
- ・とてもよかったです。

講演の様子



討論の様子



先進地に学ぶ がんピアサポート

10月9日(金)

18:30開演 18:00会場
参加費無料・申込不要
医療関係者対象
琉球大学医学部附属病院
臨床講義棟1階小講義室



NPO法人支えあう会「a」副理事長
千葉県がんセンターがん相談支援センターがん相談員
野田真由美 氏



NPO法人愛媛がんサポートおれんじの会理事長
松本陽子 氏



サバイバーナースの会「ぴあナース」代表
豊見城中央病院 ピアカウンセリング・ナース
上原弘美 氏

がんサバイバーが
経験者の立場から
がん患者さんを支援する
“ピアサポート”の取り組みが
全国で広がっています
医療者のみなさん
一緒に考えてみませんか
効果的なピアサポートの活用法

× 総合討論パネリスト

琉球大学医学部附属病院
大嶺千代美副看護部長

県立宮古病院
金城春美外科病棟看護師長

主催：沖縄県地域統括相談支援センター 共催：沖縄県がん患者等支援事業 後援：沖縄県

新聞掲載



2015年10月3日

ピアサポートという言葉をご存じですか。ピアとは仲間という意味です。昨今、がん経験者の立場からがん患者さんを支援する取り組み「がんピアサポート」が全国で広がっています。沖縄県地域統括相談支援センターは9日、がんピアサポート活動を医療者の方々に効果的に活用していただけるよう勉強会を開催します。



がんピアサポートを考える

9日、琉大病院で勉強会

がんサポートおれんじの会理事長の松本陽子氏を講師に迎えて県外の先進事例を学びます。また沖縄県での第一人者である豊見城中央病院ピアカウンセリング・ナースの上原弘美氏から県内での取り組みを学び、ピアサポートの理解を深めます。ピアサポートと医療者、それぞれの立場からピアサポートの活用を考えてみませんか。

9日(金)午後6時半～8時半。場所は琉大付属病院臨床講義棟1階小講義室。無料・申し込みは不要です。問い合わせは ☎098(942)3407(安里)まで。
(沖縄県地域統括相談支援センター・安里香代)

平成 27 年度がんピアサポーターフォローアップ研修
「模擬相談演習」
開催報告

実施日：平成 27 年 10 月 10 日（土）

沖縄県地域統括相談支援センター 主催

開催概要

1. 名称 平成27年度 がんピアサポーターフォローアップ研修「模擬相談演習」
2. 日時 平成27年10月10日(土) 10:00~16:15
3. 場所 沖縄県医師会館 2階 会議室3
4. 講師 千葉県がんセンター がん相談支援センター がん相談員
野田 真由美 氏
5. 対象 ①ピアサポート研修修了生
②すでにピアサポート活動を行っている方
③その他
6. 定員 24名
7. 参加費 無料
8. 目的 (1) ピアサポート活動をする上で様々な対応が求められるためスキルアップを図る。
(2) 自信を持ってピアサポート活動ができるようにする。
9. 主催 沖縄県地域統括相談支援センター
10. 共催 沖縄県がん患者等支援事業
11. 後援 沖縄県
12. 協賛 琉球大学医学部附属病院 がんセンター
沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会

プログラム

開始	終了	時間	内 容	講 師 等、 担当者
9:30	10:00	30分	受付、会場準備	
10:00	10:05	5分	開会のあいさつ	沖縄県地域統括相談支援センター長 増田昌人
10:05	10:10	5分	オリエンテーション	沖縄県地域統括相談支援センター 事務 安里君代
10:10	10:30	20分	模擬相談演習をする目的（動機 づけ） 見本の模擬相談	千葉県がんセンター がん相談支援セン ター がん相談員 野田真由美 氏 瑞慶覧涼子氏（SP）・上原弘美氏（相談員 役）・松本陽子氏（アドバイザー）
10:30	12:00	90分	よりよいコミュニケーション のための 模擬相談演習(3セッション)	【講師】 野田真由美 氏 【アドバイザー】5名 愛媛がんサポートおれんじの会 理事長 松本陽子 氏 沖縄県立中部病院 地域医療連携室・がん 相談支援センター 副看護師長 島袋幸代 氏
12:00	13:00	60分	昼 食	豊見城中央病院 ピアカウンセリング・ナ ース 上原弘美 氏
13:00	14:30	90分	よりよいコミュニケーション のための 模擬相談演習(3セッション)	沖縄県地域統括相談支援センター長 増田昌人 琉球大学医学部附属病院 がんセンター 医療ソーシャルワーカー 大久保礼子 【模擬患者（SP）】4名
14:30	15:40	70分	全体で振り返り	各シナリオの目標などを解説 アドバイザーより講評
15:40	15:50	10分	アンケート記入	
15:50	16:00	10分	受講終了書の授与	
16:00	16:05	5分	閉会のあいさつ	沖縄県地域統括相談支援センター長 増田昌人
16:05	16:15	10分	写真撮影	

開催内容

【受講生数】

16名（受講終了生14名、早退2名）、欠席4名

【スタッフ】

講師1名

アドバイザー4名

沖縄県地域統括相談支援センター センター長、事務員1名

琉球大学医学部附属病院がんセンター 事務員9名

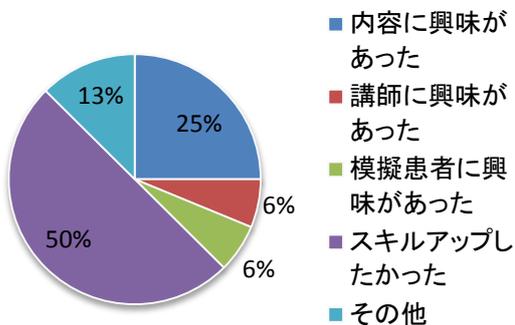
【振り返り】

- ・研修冒頭の「見本の模擬相談」ではアドバイザーへの説明不足があったものの、受講生は目で見て演習の流れを確認できたことで、大きな混乱もなくスムーズに進行した。
- ・受講生とシナリオのマッチングを行って演習の順番を決めていたが、欠席者が出たことにより演習の順番が変わってしまった受講生が数名いた。
- ・演習は全部で6セッションあり最後は希望者により行う予定であったが、受講生の要望で最後のセッションはアドバイザーである松本陽子氏の対応を観察する回に急きょ変更された。
- ・シナリオ解説の部分では受講生からの質疑があまり出ることがなく、講師とアドバイザーによる振り返りがほとんどだった。

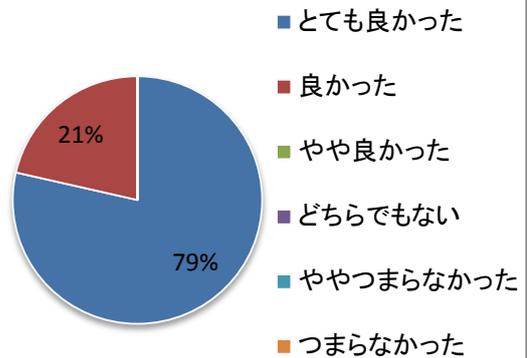
【今後の課題・反省点】

- ・参加人数と比較して演習の回数が多かった。加えて研修会の後、引き続き情報共有会も開催したため参加者だけでなく講師やアドバイザーの疲弊が非常に大きく、時間設定等を短くするなど参加しやすい研修会にする必要がある。
- ・一度見たシナリオで受講生が演習することは、同じシナリオでも対応者が違うことでそれぞれの良さを知ってもらうことを目的としていたが、受講生からは「内容を知っているから上手く対応できた」という意見の反面「一回一回の演習に気が抜けない中で、同じシナリオを見るのはより疲れが増す」など、一概に良かったと言えない反応があった。
- ・受講生の数が定員割れしたことにに関して、受講した方の満足度は高かったが受講するまでに至らないサポーターの需要は何か、何を学びたいのか検討する必要がある。
- ・講師より「受講生はお客様ではなく研修会の一員として、片付け等に参加させるべき」との助言があった。そうすることで『やってもらう』ものではなく自主性を育てることに繋がるとのこと。今後の研修会等、イベントでもピアサポーターとして準備から片付けまで参加できるような内容及び案内の仕方を検討する必要がある。

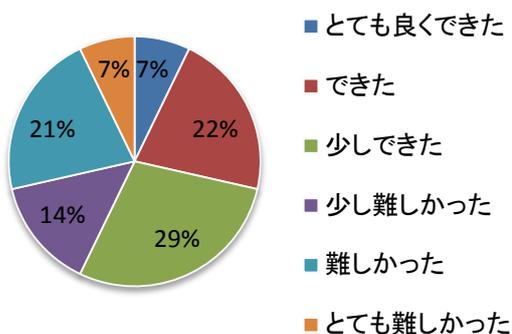
Q1. 参加しようと思ったきっかけ



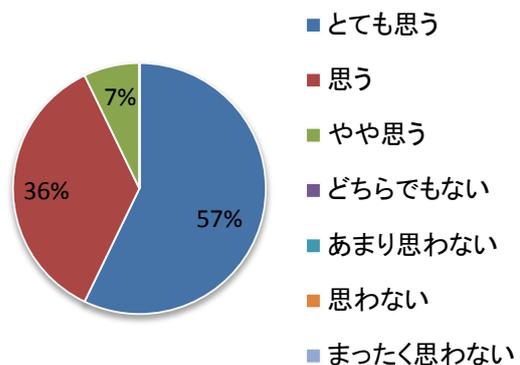
Q2. 研修内容について



Q3. 模擬相談について



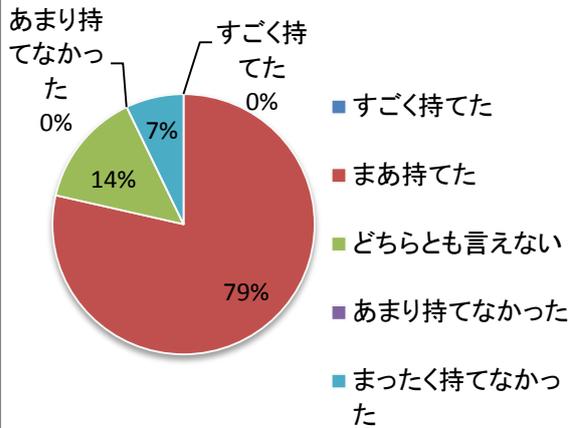
Q4. スキルアップになったと思うか



Q5. なぜそう思うか

- ・様々な方の話に傾聴するポイントを学ぶことができた。
- ・実際に相談をしている時に迷ったり疑問に思っていたことを今回お聞きすることができたのと、又新しい気付きもたくさんありましたので。
- ・模擬患者を相手にピアサポートすることが初めての経験であったこと。それゆえに訓練することの意義、大切さが理解できた時にとてもよい学習ができた！
- ・初めての体験だったのですが、いろいろ学べたし自身も体験することが出来て良かったと思う。
- ・“ピア”という事を改めて考える事が出来た。
- ・わからなかった事、医療者へのつなぎかたのしかた。
- ・今まで相談支援をしてきた方とは、また違う症例と背景・その方の性格があり、人それぞれの対応が必要だと学べた。
- ・違うシチュエーションを短時間で経験した。
- ・実際患者さんのお話を聞いて、どんな対応をした方がいいかわからなかったことを教えてもらいました。
- ・ピアサポートの意義がわかった。
- ・自分が経験することだけでなく他の方の演習を見ることで自分に足りないもの、違う考え方、見方があることを勉強できた。

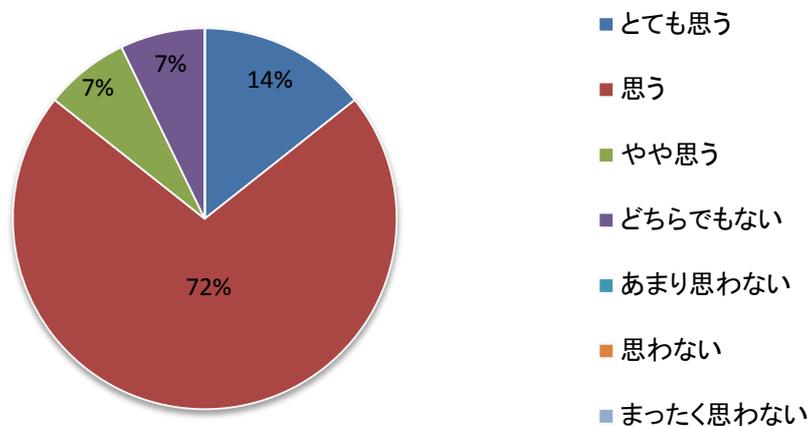
Q6. ピアサポートに自信が持てたか



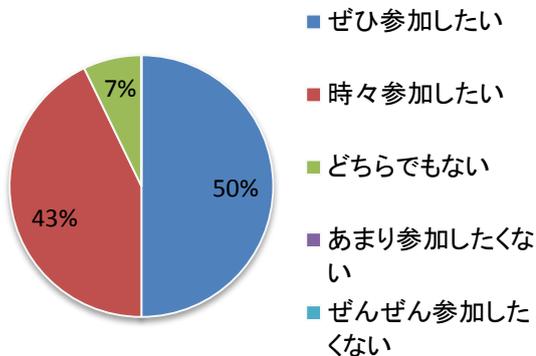
Q7. なぜそう思うか

- ・練習できたから。
- ・自分自身が日頃やっている相談も、基本からそう大きくずれてないと確信が持てたから。
- ・ピアサポーターのあるべき姿と更に経験を積むことにより、少しでも人の役に立てることの責任と嬉しさを学べたから。
- ・患者(模擬相談)、との対応が出来た。
- ・松本さんの見本を見学し、“一緒に”という事を心がけて活動していきたいと思った。
- ・“やってあげる”ではなく、よりそって行くことが大切だとのこと
- ・不安はあるが「グダグダでいいんだ」とおっしゃって下さった事が今後の活動の励みにつながりそうだと感じた。
- ・少しでも相手の苦しみに寄りそう気持ちでピアサポートのお手伝いをしていたので、それが一番大切だということを学びました。
- ・まだまだ勉強不足。
- ・いろんなケースがあって、考え方があって、タイミングがあって、ちゃんと対応できるか心配。様々な方の話に傾聴するポイントを学ぶことができた。

Q8. 今後もピアサポーターとして活動したいか



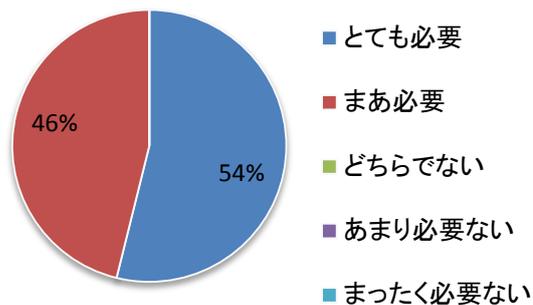
Q9. 県地域統括相談支援センター主催事業にピアサポーターとして参加したいか



Q10. なぜそう思うか

- ・がん患者さんに希望と勇気を持ってほしい。
- ・出会う患者さんとのご縁を大切にしたい。その人が少しでも幸せになってくれたら嬉しい！
- ・研修を積むたびに新しい事例等が学べる。
- ・情報の共有ができるから。
- ・自己の体験を生かして、少しでも役立つ事が出来ればと思う。
- ・闘病体験を活かし、聴くことで自分の学びになる。
- ・まだ自分自身経験が浅く、色々ながん患者の方に対応できるか自信がないのでもう少し経験を積んでから参加したいと思ってます。
- ・希望と喜びにつながれば己も幸せだから。
- ・やはり経験が大事だと思うのでその中で自分も成長できて「相談してよかった」としてもらえるピアサポートができると考えます。

Q11. 県地域統括相談支援センター主催事業の案内は必要か



Q12. なぜそう思うか

- ・自分にできる範囲でお役に立ちたい。
- ・地方(石垣島)等は情報が少ない。
- ・研修会をすることによって、気づきが出ると思う。
- ・患者会に所属していない為。
- ・時々参加したいから。
- ・思い込みや知らないことが多すぎるから。
- ・スキルアップは大事だと思うので他のピアサポーターからの情報収集として離島でも開催していただけると助かります。

Q13. 今後の研修会で何を学びたいか

- ・ピアサポーターの広報！！
- ・先進地(例えば千葉)等の事例等を参考にしたい。
- ・情報提供を出来る様な知識。がんについての知識。
- ・相談支援の具体的な傾聴の方法。
- ・緩和ケアについては必要になる知識だと思う。
- ・今回の研修会のように模擬相談演習を増やしていただけたらと思います。
- ・コミュニケーションスキル、カウンセリングスキル。

研修会の様子



がんピアサポーターフォローアップ研修

平成27年度

模擬相談演習

10月10日（土）沖縄県医師会館

同日開催

がん患者支援
情報共有会

1対1対応の模擬相談の実践トレーニングを行うことで、面談の経験を身に付けていただくことを目的に「模擬相談演習」を開催いたします。

ピアサポート活動をする上で様々な対応が求められるため、スキルアップを図り自信を持ってピアサポート活動ができるようになるために、ぜひこの機会にご参加ください。

研修会「模擬相談演習」

模擬患者とは・・・
医療者のコミュニケーション教育のために、一定の訓練を受けて実際の患者さんと近い状況（同じような症状や会話）を再現できる患者役を演じる人のことです。

プログラム

10:00～10:10	開会のあいさつ・オリエンテーション
10:10～14:30 (12:00～13:00休憩)	模擬患者を用いたよりよいコミュニケーションのための演習 講師：野田真由美 氏 スペシャルアドバイザー：松本陽子 氏
14:30～15:40	全体での振り返り
15:40～16:15	アンケート・写真撮影・閉会のあいさつ



野田真由美 氏

NPO法人 支えあう会「α」 副理事長
千葉県がんセンターがん相談支援センター
がん相談員
1998年12月、乳がんの手術を受け、直後に実父の膵臓がんが発覚。1年弱の闘病生活を支えた。
2009年～2012年千葉県がん対策推進部会及び千葉県がん医療専門委員会委員
平成23・24年度厚生労働省委託事業「がんの総合相談に携わる者への研修プログラム策定」（作業部会委員・評価委員会委員）
2013年度より千葉県がん対策情報提供部会委員



松本陽子 氏

NPO法人愛媛がんサポートおれんじの会 理事長
1965年愛媛県生まれ
遺族、子宮頸がん経験者
2009年、NPO法人愛媛がんサポートおれんじの会を設立
厚生労働省がん対策推進協議会委員
がん総合相談に携わる者に対する研修プログラム策定事業委員などを務める
現在、愛媛県の補助金を受け、院外で常設のサロンを運営している

がん患者支援情報共有会

プログラム

16:30～16:35	開会のあいさつ
16:35～16:45	出席者の紹介
16:45～18:15	わたしの活動が軌道に乗るまで一地域活動や組織運営でたいへんだったこと 野田真由美 氏・松本陽子 氏 沖縄県内患者会等を交えた座談会 地域活動や組織運営について自由に発言、質疑応答
18:15～18:30	アンケート・閉会のあいさつ

案内チラシ（裏面）

募 集 要 項	
■日時	平成27年10月10日（土） 研修会 10:00～16:15(9:30受付開始) がん患者支援情報共有会 16:30～18:30
■場所	沖縄県医師会館 会議室3（南風原町字新川218-9）
■対象者	①ピアサポート研修修了生 ②すでにピアサポート活動を行っている方 ③その他
■定員	24名（ただし、応募者多数の場合は抽選になります。）
■参加費	無料（テキスト等、無償提供いたします。）
■申込方法	FAX、電子メール、郵送にて平成27年9月10日（木）必着 お申込み用紙は当センターでお渡しできます。またはHPよりダウンロードください。
■申込先	FAX : 098-942-3408 電子メール : kimiyo@jim.u-ryukyu.ac.jp
■主催共催	沖縄県地域統括相談支援センター 沖縄県がん患者等支援事業
■後援	沖縄県
■協賛	琉球大学医学部附属病院 がんセンター 沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会



離島の方を対象に旅費
助成を行います。
詳細はお問合せください。

会場マップ



沖縄県医師会館
〒901-1105
南風原町字新川218-9
＜アクセス＞
沖縄都市モノレール首里駅前バス停から
1番（首里牧志線）、または14番（牧志開
南循環線）に乗り、沖縄県立南部医療セン
ター・子ども医療センター前または新川営
業所にて下車

沖縄県地域統括相談支援センター（琉球大学医学部附属病院内）
お問合せは ⇒ ☎ 098-942-3407
<http://www.gansoudan-okinawa.jp>

平成27年度
沖縄県がん患者等支援事業主催

がん患者支援情報共有会（簡易版） 実施報告書

開催概要

行事名	がん患者支援情報共有会
行事の趣旨・内容	がん患者支援に携わる人の情報交換や交流を目的とした「がん患者支援情報共有会」を開催する。 千葉県がんセンター専門相談員の野田真由美さん、NPO法人愛媛がんサポートおれんじの会理事の松本陽子さんを囲み、沖縄県のがん患者会やピアサポーターが、互いの地域活動や組織運営について語り合う。
主催・共催・協賛	主催 沖縄県がん患者等支援事業 共催 沖縄県地域統括相談支援センター 後援 沖縄県 協賛 琉球大学医学部附属病院がんセンター
参加者・参加方法	入場料無料 ピアサポーター研修修了生、ピアサポートを実践している方 20～25名程度参加見込み
場所	10月10日（土）沖縄県医師会館 2階 会議室3

全体プログラム

情報共有会開催のねらい

沖縄全域でがん患者支援に携わる人が情報交換や交流をはかることで、支援活動における課題解決のヒントを得る。

開始	終了	時間	内容	講師・担当者
16:30	16:35	5分	開会のあいさつ	琉球大学医学部附属病院 がんセンター長 増田昌人
16:35	16:45	10分	出席者紹介	参加者全員
16:45	17:00	15分	体験談 わたしの活動が軌道に乗るまで	NPO法人支えあう会『a』副理事長 千葉県がんセンター がん相談支援センターがん相談員 野田真由美氏
17:00	17:15	15分	体験談 わたしの活動が軌道に乗るまで	NPO法人愛媛がんサポートおれんじ の会 理事長 松本陽子氏
17:15	18:15	60分	沖縄県内患者会等を交えた 座談会	参加者全員
18:15	18:25	10分	アンケート	参加者全員
18:25	18:30	5分	閉会のあいさつ	琉球大学医学部附属病院 がんセンター長 増田昌人

役割分担

	16:15 ～	16:30 ～	16:35 ～	16:45 ～	17:00 ～	17:15 ～	18:15 ～	18:25 ～	18:30 ～
	16:30	16:35	16:45	17:00	17:15	18:15	18:25	18:30	19:00
	15分	5分	10分	15分	15分	60分	10分	5分	30分
	会場 設営	挨拶	出席者 自己 紹介	講演		座談会	アンケート 記入	挨拶	片付け
千葉県				愛媛県					
野田真由美氏				○		○			
松本陽子氏					○	○			
増田昌人		○				○		○	
安里君代	会場 設営		珈琲 サブ	会場係（接待係）					
又吉未央	会場 設営	司会							
高橋ユカ	珈琲 受取	検収 撮影	珈琲 サブ	会場係（接待係）					
小林己記	珈琲 受取	検収 撮影	珈琲 サブ	会場係（接待係）					
山口元子	会場 設営	カメラ・ビデオ・電気係							

■チラシ（A4両面フルカラー）

※過去研修会受講者、県内患者会や医療機関に配布

がんピアサポーターフォローアップ研修

平成27年度

模擬相談演習

10月10日（土）沖縄県医師会館

同日開催

がん患者支援
情報共有会

1対1対応の模擬相談の実践トレーニングを行うことで、面談の経験を身に付けていただくことを目的に「模擬相談演習」を開催いたします。

ピアサポート活動をする上で様々な対応が求められるため、スキルアップを図り自信を持ってピアサポート活動ができるようになるために、ぜひこの機会にご参加ください。

研修会「模擬相談演習」

模擬患者とは・・・
医療者のコミュニケーション教育のために、一定の訓練を受けて実際の患者さんと近い状況（同じような症状や会話）を再現できる患者役を演じる人のことです。

プログラム

10:00～10:10	開会のあいさつ・オリエンテーション
10:10～14:30 (12:00～13:00休憩)	模擬患者を用いたよりよいコミュニケーションのための演習 講師：野田真由美 氏 スペシャルアドバイザー：松本陽子 氏
14:30～15:40	全体での振り返り
15:40～16:15	アンケート・写真撮影・閉会のあいさつ



野田真由美 氏

NPO法人 支えあう会「α」 副理事長
千葉県がんセンターがん相談支援センター
がん相談員
1998年12月、乳がんの手術を受け、直後に実父の膵臓がんが発覚。1年弱の闘病生活を支えた。
2009年～2012年千葉県がん対策推進部会及び千葉県がん医療専門委員会委員
平成23・24年度厚生労働省委託事業「がんの総合相談に携わる者への研修プログラム策定」（作業部会委員・評価委員会委員）
2013年度より千葉県がん対策情報提供部会委員



松本陽子 氏

NPO法人愛媛がんサポートおれんじの会 理事長
1965年愛媛県生まれ
遺族、子宮頸がん経験者
2009年、NPO法人愛媛がんサポートおれんじの会を設立
厚生労働省がん対策推進協議会委員
がん総合相談に携わる者に対する研修プログラム策定事業委員などを務める
現在、愛媛県の補助金を受け、院外で常設のサロンを運営している

がん患者支援情報共有会

プログラム

16:30～16:35	開会のあいさつ
16:35～16:45	出席者の紹介
16:45～18:15	わたしの活動が軌道に乗るまで一地域活動や組織運営でたいへんだったこと 野田真由美 氏・松本陽子 氏 沖縄県内患者会等を交えた座談会 地域活動や組織運営について自由に発言、質疑応答
18:15～18:30	アンケート・閉会のあいさつ

参加者名簿

	氏名	ふりがな	性別	所属
1	■■■■■	■■■■■	女	支えあう会「a」
2	■■■■■	■■■■■	女	愛媛がんサポートおれんじの会
3	■■■■■	■■■■■	女	ぴんくぱんさあ
4	■■■■■	■■■■■	女	ぴんくぱんさあ
5	■■■■■	■■■■■	女	ぴあナース
6	■■■■■	■■■■■	女	ぴあナース
7	■■■■■	■■■■■	女	やいまゆんたく会
8	■■■■■	■■■■■	男	やいまゆんたく会
9	■■■■■	■■■■■	女	やいまゆんたく会
10	■■■■■	■■■■■	男	やいまゆんたく会
11	■■■■■	■■■■■	女	小児がん患者支援
12	■■■■■	■■■■■	女	那覇西ひまわりの会
13	■■■■■	■■■■■	女	那覇西ひまわりの会
14	■■■■■	■■■■■	男	沖縄県地域統括相談支援センター
15	■■■■■	■■■■■	女	沖縄県地域統括相談支援センター
16	■■■■■	■■■■■	女	沖縄県地域統括相談支援センター
17	■■■■■	■■■■■	男	日本オストミー協会
18	■■■■■	■■■■■	女	まんま宮古

会場案内図



沖縄県医師会館

〒901-1105

南風原町字新川218-9

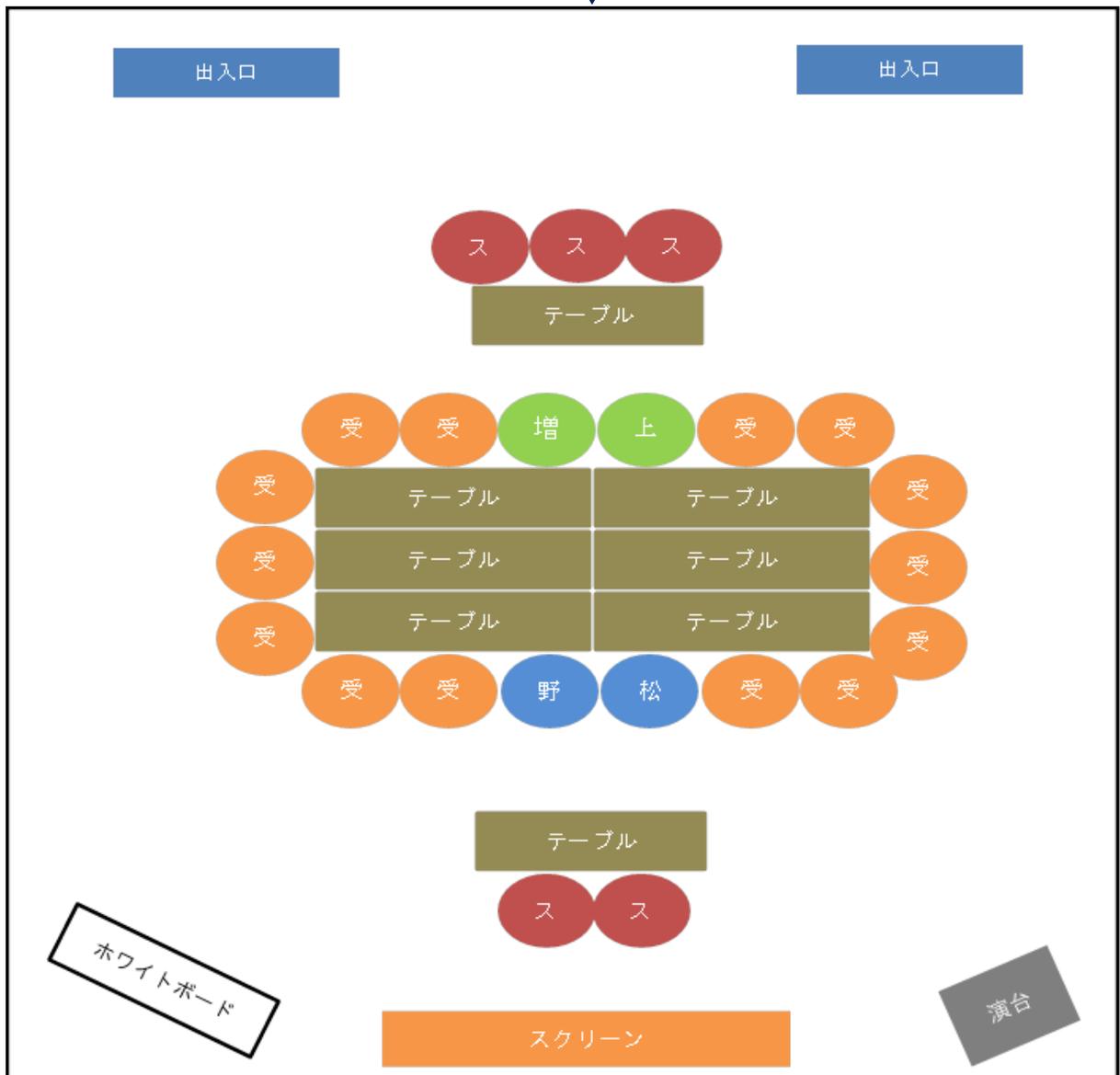
TEL:098-888-0087 / FAX:098-888-0089

<アクセス>

沖縄都市モノレール首里駅前バス停から1番（首里牧志線）、または14番（牧志開南循環線）に乗り、沖縄県立南部医療センター・子ども医療センター前または新川営業所にて下車



会場レイアウト





野田真由美 氏

NPO法人 支えあう会「a」 副理事長
千葉県がんセンターがん相談支援センター
がん相談員

1998年12月、乳がんの手術を受け、
直後に実父の膵臓がんが発覚
1年弱の闘病生活を支えた

2009年～2012年千葉県がん対策推進部会及び
千葉県がん医療専門委員会委員

平成23・24年度厚生労働省委託事業

「がんの総合相談に携わる者への研修プログラム策定」
(作業部会委員・評価委員会委員)

2013年度より千葉県がん対策情報提供部会委員



松本陽子 氏

NPO法人愛媛がんサポートおれんじの会理事長

1965年愛媛県生まれ

遺族、子宮頸がん経験者

2009年、NPO法人愛媛がんサポートおれんじの会を
設立

厚生労働省がん対策推進協議会委員

がん総合相談に携わる者に対する研修プログラム策定
事業委員などを務める

現在、愛媛県の補助金を受け、院外で常設のサロン
を運営している

座談会風景



座談会風景



アンケート概要

1. 目的

情報共有会の質の向上及び改善等を推進するため、参加者を対象としたアンケートを行った。

2. 内容

(1) 参加者属性

年齢・性別・お住まい・お立場

(2) がん患者支援活動について

支援活動の有無・活動にあたっての課題

(3) 講演について

理解度・今後の活動に役立つか 等

(4) 座談会について

発言できたか、今後の活動に役立つか 等

(5) 情報共有会について

全体の内容の満足度・良かった点・改善して欲しい点

(6) ご意見・ご要望

3. 調査方法 紙媒体によるアンケート

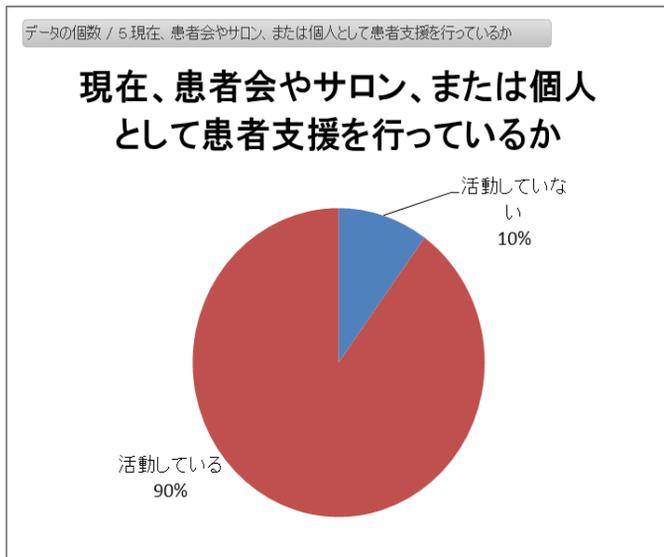
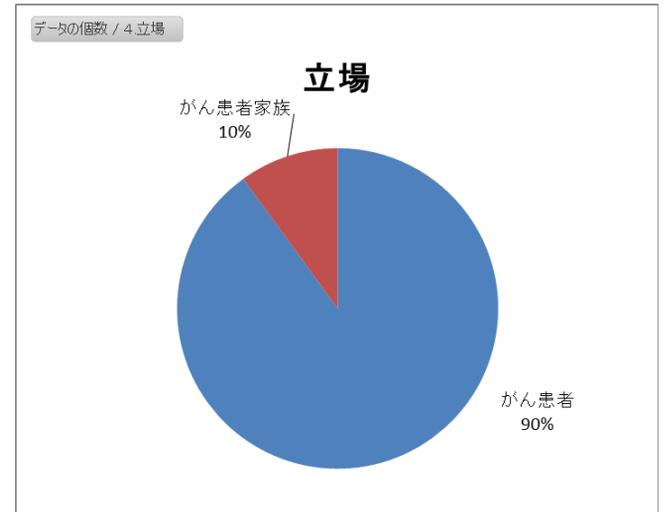
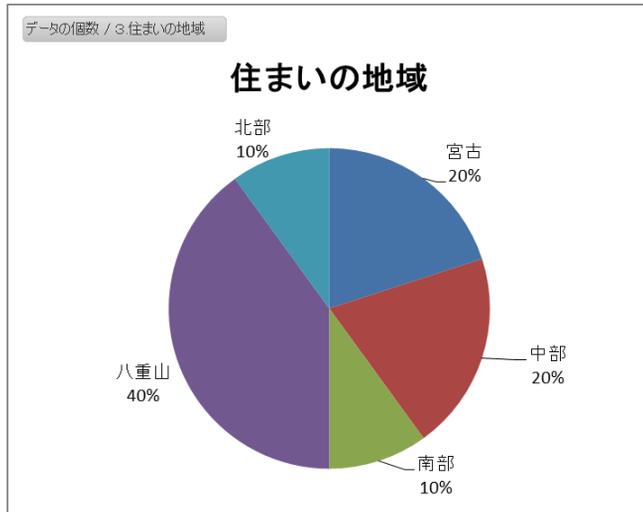
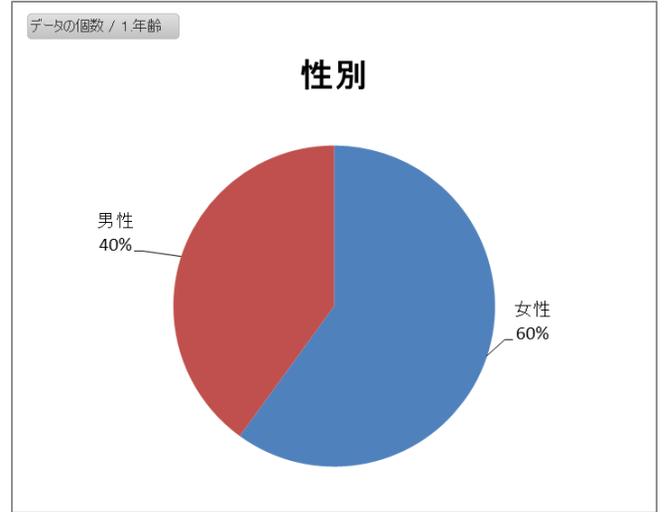
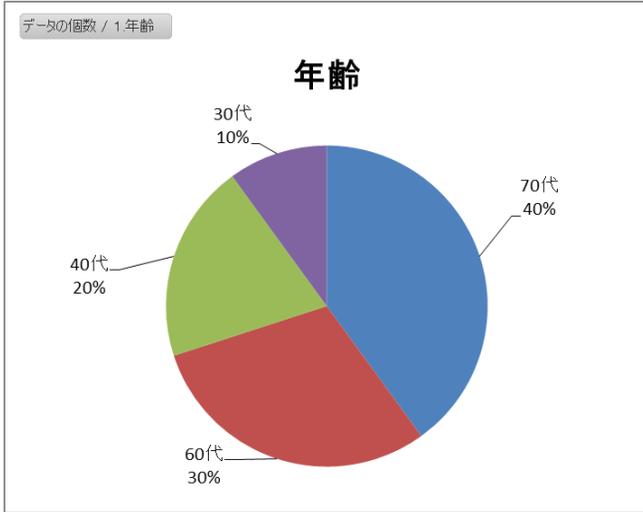
4. 調査対象 参加者18名(回答率:55.6%)

5. 実施日 平成26年10月10日(土)

集計結果

平成 27 年度がん患者等支援事業

平成 27 年 10 月 10 日「がん患者支援情報共有会」に関する アンケート集計結果 回答数 10/18 人 回答率 55.6%



集計結果

患者支援でむずかしい、わからながん患者のうまくいかないことがあれば教えてください。

自分自身が経験していないがん治療、本人の背景について相談されたとき、しっかり寄り添えているかと迷うことが多い。広報活動など県内のがん患者さんのもとに情報をすみずみまで届けたいと思うが、継続的なPRが難しいと感じる。

患者でないピアサポーターが丁寧に話を聴くことの難しさを感じることができました。

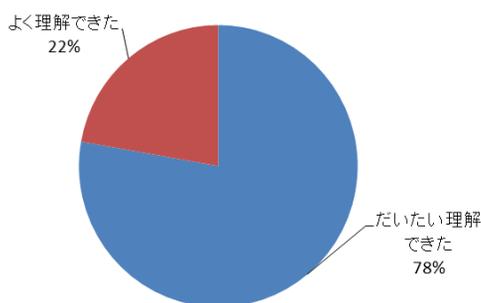
患者会で手術前はよく問い合わせがありますが、手術後に患者会にこないとか、連絡がないとちょっとうまくいかない。

自分より年上の患者さんの相談を受けているときに、相談支援をしていて、年下の私がアドバイスして良いかと迷うときがある。

経験が浅いのでよくわからない。

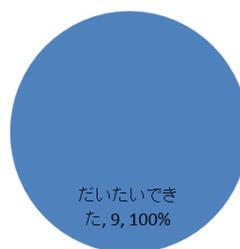
データの個数 / 7 野田さんと松本さんによる体験談は理解できたか

野田さんと松本さんによる体験談は理解できたか



データの個数 / 8 体験談から、患者支援のアイデアや問題解決のヒントを得ることができたか

体験談から、患者支援のアイデアや問題解決のヒントを得ることができたか



「体験談からアイデアやヒントを得ることができたか」の問いについて) 理由を教えてください

サロンなど運営する側の立場にいないので、あまり実感としては分かりにくかったです。

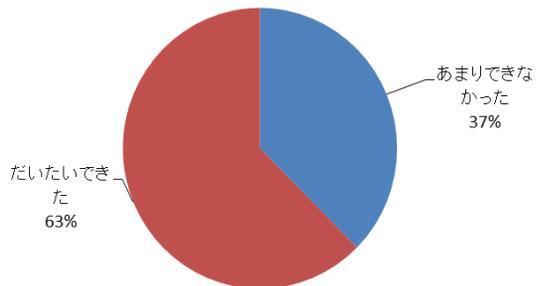
患者と共感する

真剣に聴けた。

集計結果

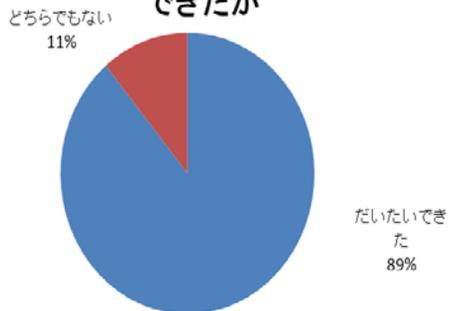
データの個数 / 10 座談会で患者支援について発言することはできたか

座談会で患者支援について発言することはできたか



データの個数 / 11 座談会から患者支援のアイデアや問題解決のヒントを得ることができたか

座談会から患者支援のアイデアや問題解決のヒントを得ることができたか



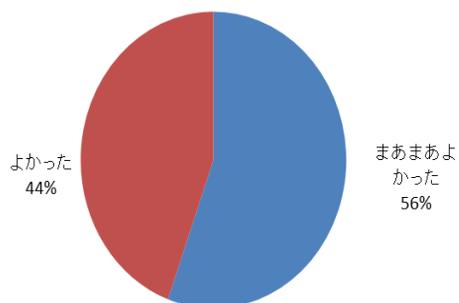
「座談会からアイデアやヒントを得ることができたか」の問いについて) 理由を教えてください

今回初めてこのような回に参加し、右も左もわからない状況だったので各サロンを運営していく方々のご苦勞を知ることができました。

一緒にというキーワードには限界と相談者の置かれた状況によって相当にニュアンスが異なってくるものと思うが？

データの個数 / 13 情報共有会の満足度

情報共有会の満足度



集計結果

全体を通してよかったところを教えてください

全県離島からもがん患者さんの支援に関わっている人たちが集まって色々意見交換できたところは良かったと思う。
皆様が真剣であったこと。
患者の情報の共有。医療的なことは出来るだけ触れない。
皆様一緒に考えたり、意見を言って再確認できたところです。
どう相談支援していけばいいのか、迷っていたことに対して答えを見つけることができた。
安らぎと安心感を得ることができる。

全体を通して改善してほしいところを教えてください

研修会の時間をもう少し短くして、より多くの人に2部の方へも参加してもらったらもっと良かったと思う。
模擬患者とのピアサポートする際の心得等をより具体的に説明してほしい。後では理解できましたけど。
ピアサポートの経験が浅いので、今後は研修を通して積み上げていきたい。
(情報共有会前の研修会について) 演習の回数が少し多すぎる。一度開くことでエネルギーが消耗するため、もう少し回数を減らしていいのでは。

今後も地域統括相談支援センター事業・がん患者等支援事業は、患者会活動やサロン運営の支援を継続していきますが、次年度に向けてご意見やご要望があればお聞かせください

次年度もこんなふうに座談会を開けたらいいと思います。継続することがとても大事だと思うのでよろしくお願いします。
今後も地域統括事業を継続して研修会を期待申し上げます。
今回参加の目的のひとつに野田さんと松本さんによる体験談を拝聴し、今後新八重山病院内に開設するがんサロンの参考にしたかったのですが、時間内に拝聴できなくて残念に思います。

平成27年度
沖縄県がん患者等支援事業主催

がんピアキャラバンIN石垣島 実施報告書(簡易版)

実施日:平成27年12月6日(日)

(1) 名称 がん相談できる島づくり がんピアキャラバン

(2) 「がんピアキャラバン」とは

「がん相談等がん支援を活用する県民の増」を推進するために、沖縄県全域に出向き、がん患者会や医療職、行政職等の地域関係者と協働で、イベントを通じてがん患者支援を行う。主たる内容はがんピアサポーターや医療者によるがん相談とし、支援体制の普及啓発活動、がんに関する適切な情報提供も同時に行う。

(3) 目的

・がん患者や家族の不安軽減

専門家による相談会や、当事者同士ががんに対する不安や悩み・気持ちを分かち合い、必要とする情報を交換し合うことで病気に対する不安軽減につなげる。

・がん相談に関する自主的・自立的活動の推進

がんピアサポートの活動機会が少ない地域等へ、がん相談に対応できる相談員をアドバイザーとして派遣し、地域のがん患者等関係者(ピアサポーター)にピアサポート活動の機会を与えることで、ピアサポーターとしての資質を高め、ゆくゆくは自主的・自立的にピアサポートが行える体制をつくる。

出張ピアサポート実施にともなう面会および意見交換

日時：平成27年10月2日（金）10:00～11:00

場所：石垣市市民保健部 健康福祉センター
沖縄県石垣市登野城1357-1

出席者：石垣市市民保健部健康福祉センター 所長 前底正之 様
石垣市市民保健部健康福祉センター 所長補佐 東浜妃敏 様
琉球大学医学部附属病院がんセンター センター長 増田昌人
琉球大学医学部附属病院がんセンター 事務補佐員 又吉未央

当日の様子：

「がん相談に関する自主的・自立的活動の推進」の観点から、出張ピアサポート（がんピアキャラバン）実施を石垣市市民保健部健康福祉センターに提案。話し合いの末、12月開催の石垣市健康福祉まつりへの出展が仮決定した。



■ 出展申込書

FAX
(88)0087

健康福祉まつり出展申込書

締め切り
10月21日

～左記のファックス番号へご返送ください～

団体名	りゅうきゅうだいがくいがくぶふぞくびょういん がんせんたー 琉球大学医学部附属病院 がんセンター	担当者	またよし みお 又吉 未央
住所	西原町字上原207番地	連絡先	職場:098-942-3407 携帯 [REDACTED]
代表者	増田 昌人	役職	がんセンター

1. 催し物の名称

が ん ピ ア キ ャ ラ バ ン I N 石 垣 島

例)来て・見て・知ろう！自分のからだ!!

※プログラムへ掲載しますので20字以内をお願いします。

2. 催し物の内容

「が ん」の不安や心配ごと、がん体験者とお

しゃべりしてみませんか。カラセラピー体

験やピアサポート展、各種冊子もあります。

※プログラムへ掲載しますので60字以内をお願いします。

3. 当日の出展について

1) 今回の催し物を他団体と共同で出展予定ですか

- ①共同で出展する ②共同で出展しない

2) 共同で出展する団体の名称及び代表者名等をお書きください

①団体名:やいまゆんたく会 代表者名:新城 純 連絡先:[REDACTED]

②団体名: _____ 代表者名: _____ 連絡先(_____)

③団体名: _____ 代表者名: _____ 連絡先(_____)

3) 当日、団体の出展に参加されるスタッフの人数は何名ですか (約 10 人)

4. 事務局では出展者と参加者が『気楽に・楽しく』触れ合う場として、1団体あたり30分程度のフリートークサロンの設置を予定しています。ご希望の団体は下記にご記入ください。

①希望する テーマ:「がんと診断されたら」

例)～家庭でも出来る「肩こり」を癒やすタッチセラピーのソゴ技～

使用する備品等

展示ボード(5枚)・脚(7脚) 長テーブル(5脚) イス(10脚)

※原則として使用する備品は各課・団体でご準備ください。

提出期限 平成27年10月22日(木)

がん関連図書の活用検討にともなう面会および意見交換

日時：平成27年10月2日（金）11:30～12:00

場所：石垣市立図書館

沖縄県石垣市浜崎町1丁目1番地

出席者：石垣市立図書館 館長 野底由紀子 様

石垣市立図書館 副主幹兼資料サービス係長 久原道代 様

琉球大学医学部附属病院がんセンター センター長 増田昌人

琉球大学医学部附属病院がんセンター 事務補佐員 又吉未央

当日の様子：

「がん情報提供体制の強化」の観点から、暮らしに身近な存在である図書館におけるがん関連図書の活用について意見交換を行った。図書館からは医療書は専門性が高いため、医療者から選書のアドバイスがほしい等の意見が出された。

※この面会がきっかけとなり、後日、がんピアキャラバンでの図書貸し出しが決定した。



○ 地域関係者との協働（患者会）

八重山医療圏がん医療連携協議会を通じ、地域の患者会「やいまゆんたく会」にピアサポーターの協力を要請。13名から活動表明があった。

シフト帯	A帯		B帯 (12～13時は昼食)			C帯		ご自身の がん体験談 (約10分)を 話してもよい
時間 お名前	9:00 ～	10:00 ～	11:00 ～	12:00 ～	13:00 ～	14:00 ～	15:00 ～	
1. [REDACTED]	○	○						午前の部
2. [REDACTED]	○	○						
3. [REDACTED]	○	○						
4. [REDACTED]				○	○			
5. [REDACTED]			○	○				
6. [REDACTED]			○	○				
7. [REDACTED]			○	○				
8. [REDACTED]					○	○		午後の部
9. [REDACTED]					○		○	
10. [REDACTED]						○	○	
11. [REDACTED]					○		○	
12. [REDACTED]						○	○	
13. [REDACTED]						○	○	
計	3人	3人	3人	4人	4人	4人	5人	

- (1) 名称 がん相談できる島づくり がんピアキャラバンIN石垣島
- (2) 日時 12/6(日)10時～16時
- (3) 場所 石垣市健康福祉センター1Fこどもセンター
(健康福祉まつり会場内ブース)
- (4) 内容 がんサロン、ピアサポート展、がん関連図書貸出し等
- (5) 入場料 無料
- (6) 対象 がん診療・治療を受けておられる患者様・ご家族・関心のある地域の方々
- (7) 主催 沖縄県がん患者等支援事業
共催 沖縄県地域統括相談支援センター

○ 当日スケジュール

◆出展スペース(こどもセンター)

開始	終了	時間	内容	担当者
8:00	9:00	60分	会場設営	事務員 沖縄県地域統括相談支援センター相談員
9:00	(16:00)	—	健康福祉まつり開会	
9:00	(16:00)	終日	ピアサロン 開始 ピアサポート展 開始 情報コーナー 開始	やいまゆんたく会 ピアサポーター 沖縄県地域統括相談支援センター相談員 事務員・増田センター長
9:30	9:40	10分	がん体験者のおはなし (1回目)	やいまゆんたく会 ピアサポーター
9:00	(16:00)	終日	がん関連図書出張貸し出し 開始	石垣市立図書館
11:00	12:00	60分	カラーセラピー(1回目)	沖縄県地域統括相談支援センター相談員
13:00	13:10	10分	がん体験者のおはなし (2回目)	やいまゆんたく会 ピアサポーター
14:00	15:00	60分	カラーセラピー(2回目)	沖縄県地域統括相談支援センター相談員
(9:00)	16:00	—	健康福祉まつり閉会	
16:00	17:00	60分	後片付け	全員

◆フリートークスペース

開始	終了	時間	内容	担当者
11:15	11:45	30分	がんと診断されたら	増田センター長

■チラシ表

参加無料

石垣市健康福祉まつり

障がい者週間・市民のつどい

第26回 第35回

2015

12月6日 日 9:00~16:00

石垣市健康福祉センター

講演会
 集団検診ホール
 13:00~16:00

参加者募集中

お申し込みは ☎88-0088
健康福祉まつり事務局まで

健康づくりウォーキング
 ●満喫コース! ●おさんぽコース!

笑って笑って元気いっぱい!!
 笑いヨガ、笑う健康体操です。赤ちゃんからすべての方々に。
心と体の健康法 誰にでも簡単ヨガ療法
 呼吸法中心の誰でも気軽に参加できる優しいヨガです。



わくわく生きるを支えたい
 ~認知症の人とともにクラスまちづくり~
 講師/池田 武俊 (大牟田市保健福祉部調整監)



Advanced Care Planning
 大切な最後の時期をどう迎えるか?
 講師/瀬尾 卓司 (沖縄県立八重山病院)



「健口生活・延ばそう健康寿命」
 ~こんなにも関係があった口と全身~
 講師/砂川 和徳 (八重山地区歯科医師会)

健康福祉まつり **12月5日 土** 開場/12:30 開演/12:45~16:00
プレイベント いちばん大切な人と、いちばん大切なこと、学んでみませんか
 集団検診ホール **～いのちの授業～**

第1部 患者の立場より
「必要とされる時に、生きているという実感が」
 黒島 富士子 氏 (やえやまがん患者支援会)

第2部 医師の立場より
「終わりがあから愛おしい、大切な一日一日を生きる」
 栗山 登至 氏 (サマリヤ人病院 医師)

「がん・神経難病の患者さんから学んだこと」
 石川 清司 氏 (国立病院機構沖縄病院 医師)

健康づくりウォーキング
 国保・後期高齢についてもっと知ろう!
 来て見て知ろう! 自分の中から!
チャーがんじゅうアワー おおらが生活
ヘルシー料理の試食会と簡単クッキング
大丈夫?私の食事!

有酸素運動を体験!
トレーニング室 無料開放

ふれ愛バザー
 芝生広場
 9:30~16:00

ふれ愛ステージ
 フライングディスク大会
 手話体験 ◀ 音訳体験
 第3回 八重山地区障がい者美術展
 活動紹介コーナー
 福祉機器展示・お試しコーナー
 福祉体験スタンプラリー
 みんなで広げよう子育ての輪
 ちびっこわくわく遊びコーナー

お問い合わせ先
 障がい者週間・市民のつどい事務局
 石垣市福祉部障がい福祉課 ☎82-9947

オープニングセレモニー

県内初(石垣市)の
 介助犬のご紹介
 芝生広場
 9:00~9:30



9時の健診、治療相談
 歯とお口の健康相談コーナー
 ♥ホット♥するタッチセラピー
 目で見て聞いてサロン!

ハンセン病啓発パネル展
 あなたはいい酒?悪い酒?
 ~Let's健康おきなわ21~
 自分のため、大切な人のため、知ろうエイズ
 あなたの♡こころお元気ですか?うつ病自己チェック
理学療法フェア
 体幹と姿勢とルディックウォーキング!
 今年のメインは骨密度! あなたの骨大丈夫?
集まれちびっ子、調剤体験!
がんピアキャラバンIN石垣島

お問い合わせ先
 石垣市健康福祉まつり実行委員会事務局
 石垣市健康福祉センター ☎88-0088

障がい者週間・市民のつどい催し物

■チラシ裏

12/6 (日) 第26回 石垣市健康福祉まつり

	催し物	会場	時間	内容
開会式	オープニングセレモニー	芝生広場	9:00~9:30	1.保育園児によるエイサー（大川保育所） 2.主催者あいさつ・・・石垣市長 中山 義隆 3.来賓祝辞・・・石垣市議会 議長 知念 辰憲 4.県内初（石垣市）の介助犬のご紹介 5.まつり参加者全員で「島むにラジオ体操」
健康 チエツク・ 健康相談 コーナー等	健康づくりウォーキング ◎市民保健部 健康福祉センター	センター周辺	9:30~12:00	おさんぽコース！まつり会場満喫コース！ （受付時間 9：30～11：00）
	国保・後期高齢についてもっと知ろう！ ◎石垣市国民健康保健事業・後期高齢者医療	いこいの 広場	9:00～16:00	国民健康保険・後期高齢者医療や特定健診について、ポスター掲示・パンフレット配布やDVDを放映いたします。
	来て・見て・知ろう！自分のからだ！ ◎市民保健部 健康福祉センター			保健師、栄養士による健康相談や乳がん自己検診法について保健師が指導を行います。
	ちゃーがんじゅうアワー おおらか生活 ◎福祉部 介護長寿課			少子高齢化の進行とともに高齢者の生活機能の自立、人生、生活への満足感が重要になっているなかで、介護保険についての説明やDVDを放映いたします。
	ヘルシー料理の試食会と簡単クッキング ◎八重山調理師会	1階ロビー		フロカが考案した「ヘルシー料理の試食とレシピの配布!!」手軽に作れるヘルシークッキングや展示料理もあります。
	大丈夫？私の食事！ ◎沖縄県栄養士会八重山支部			体験型栄養教育システム「食育サット」を活用し、日頃の食事を模擬食材（フードビル）から選んでいただき栄養価計算及びバランスチェックを行います。
	ハンセン病啓発パネル展 ◎八重山福祉保健所 ◎市民保健部健康福祉センター			ハンセン病の啓発普及活動及び療養所非入所者賠償一時金・給与金の訴訟期間周知を目的としてパネル展を開催します。
	あなたはいい酒？悪い酒？ ～Let's健康おきなわ21～ ◎八重山福祉保健所健康づくりグループ			お酒の飲み方をチェックリストを用いてチェックします。上手なお酒の飲み方について、リーフレットを配布します。
	自分のため、大切な人のため、知ろうI.I.V' ◎八重山福祉保健所健康推進班疾病予防グループ	展 示 コーナ-		HIVやAIDSに関する正しい知識を学べるパネル展示と保健所で実施している検査内容をご紹介します。
	あなたの♡こころお元気でですか？ うつ病自己チェック ◎八重山福祉保健所			最近イライラしがち、気分が沈みがち、体がだるい、頭痛が続くなどそんな症状はありませんか？さあ自分のストレス状態をチェックしてみましょう。
	理学療法フェアー ◎沖縄県理学療法士協会 八重山ブロック			健康・介護・進路相談コーナー、体力測定コーナー、自働具展示コーナー
	体幹と姿勢とノルディックウォーキング！ ◎JNFA公認団体石垣島ノルディックウォーキング倶楽部			ウォーキングの姿勢によって効果が違います。歩きながら体幹を鍛え正しい姿勢を身につけよう！JNFA公認指導員がご案内します。
今年のメインは骨密度！あなたの骨大丈夫？ ◎沖縄県立八重山病院 ◎看護協会八重山地区支部		骨密度測定・血管年齢測定・八重山の減圧症についてAEDトレーニング・八重山病院お仕事説明会など。		
集まれチビっ子、調剤体験！ ◎八重山地区薬剤師会	子ども センター	子ども達に調剤体験をしてもらうことで、薬剤師の仕事の一端に触れてほしい。また、臆するを含め健康全般に関するご相談に応じます。		
がんピアキャラバンIN石垣島 ◎琉球大学付属病院がんセンター ◎やいまゆんたく会		「がん」の不安や心配ごと、がん体験者とおしゃべりして見ませんか。カラーセラピー体験やピアサポート展、各種冊子もあります。		
口の健診、治療相談 ◎八重山地区歯科医師会	歯科検診室	9:30～16:00	一般的な歯科健診に加えて、話す・食べるなどの口の機能について調べます。治療中の方の相談も伺います。	
歯とお口の健康相談コーナー ◎八重山歯科衛生士会 ◎沖縄県八重山福祉保健所	待ち合い ロビー	9:30～16:00	お口の健康相談～全身の健康はお口から～	
♡ホット♡するタッチセラピー ◎NPO法人セラピーケア・ククル ◎あるまねっと		9:30～16:00	お背中から温かい手でやさしく触られる、タッチセラピー、ハンドトリートメント、フットトリートメントの中から体験いただけます。	
目で見て聞いてサロン！ ◎琉球大学付属病院◎石垣島/レィックウォーク 倶楽部 ◎八重山地区歯科衛生士会◎笑いヨガ八重山		10:00～13:00	病気や運動などのお悩みを解決するミニサロンです！ ①がんと診断されたら②歩き方いろいろ～よい姿勢～③あいうべ体操で元気なからだ！④笑いヨガの機能効果	
講演会 わくわく生きるを支えたい ～認知症の人とともに暮らすまちづくり～ 講師：池田武俊 大牟田市保健福祉部調整監	集団検診 ホール	13:00～14:30	認知症を正しく理解し、予防や早期発見に努めるとともに、認知症の人や家族を温かく見守り支援する市民を増やし、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指す。	

八重山毎日新聞

ど球技が苦手、机に向いてでしょうか。

誘い

りうることなのです。また視覚機能は、二つの目の機能的なことだけではなく脳と「からだの認識力」と運動しながら情報をつか

しい体験にならないことがあるのです。今回の講演では、子どもたちに勉強や運動などが楽しい学びにな

るようにビジョントレ

まもぜひお気兼ねなくご参加していただければと存じます。

◆問い合わせ
(82)89970、
携帯090-117
9-4773号前朋
子)

◆日 時
12月6日(日)

◆対象
がん診療治療を受けておられる患者さん、ご家族、ある地域の方

◆参加無料

◆問い合わせ
琉球大学医学部病院がんセンター
098-949
407(直通)
098-899
331(代表)

先月の14日、離島では初となる「県のがん対策に関するタウンミーティング」を石垣市で開催しました。

その日、患者の立場で演台に立った「やいまゆんたく会」の新純会長は、こう話してくれました。「最もがんと患者が苦勞するのは、がん治療を終え退院や通院が終わった後。ここから孤独感がはじまり、がんとの闘いがスタートするのです。2人に1人ががんにかかるといふ時代です。あなたの暮らす地域にもがんを経験した

方は多くいらっしゃいます。そしてその経験を生かし、同じようにがんにかかった患者さんやご家族を支えようと活動しています。

このように経験者の立場からがん患者さんを支援する「ピアサポート」の取り組みを、皆さんに知っていただき、そして活用していただきたい、そんな思いからがん患者支援のイベント「がんピアキャラバン」は誕生しました。

6日に石垣市健康福祉センターで開催される「石垣市健康福祉ま

つり」で、県内に先駆けけて1回目となる「がんピアキャラバン」石垣島を開催いたします。

サロンスペースでは、当事者同士ががん

ピアをご体験いただけ

展示スペースでは「泣きたいときがあつていい 落ち込むときも、あつていい」をキャッチフレーズに、

立図書館のご協力により、がん関連図書の出張貸し出しを予定しております。

がんを周囲に知られる島づくりを目指しています。ぜひブースへ足をお運びください。お待ちしております。

◆日 時
12月6日(日)

◆場 所
石垣市健康福祉センター市健康福祉まつりブース内

がん相談できる島づくりがんピアキャラバン 石垣島

琉球大学医学部付属病院がんセンター 又 吉 未 央

に対する不安や悩み、気持ちを分かち合うピアサロンや、がん体験者によるおはなし、そして沖縄県地域統括相談支援センターの相談員によるカラーセラ

抱えている方がいらっしやるかもしれません。ですが2人に1人は、がんと縁ある人生を送る可能性があるのです。ぜひこの機会

は、大人も子どももおよび全国の消費生活センターには、子

は、大人も子どもも共に楽しめるものが多く、パソコンや携

小4の息子がオンラインゲームにはまって次々にアイテム

づいたが、小2の息子がネットのゲームアイテムを購入して

ことだ」とメールしたら、最後にご利用された100円を払い

とがあるが、その他は購入していない。しかし、孫は私のク

④オンラインゲーム会社等は利用者の年齢を把握しにくい

◆日 時
12月6日(日)
午前9時〜午後4時

◆場 所
石垣市健康福祉センター市健康福祉まつりブース内

◆日 時
12月6日(日)

◆場 所
石垣市健康福祉センター市健康福祉まつりブース内



国民生活センター
および全国の消費生活センターには、子

は、大人も子どもも共に楽しめるものが多く、パソコンや携

小4の息子がオンラインゲームにはまって次々にアイテム

づいたが、小2の息子がネットのゲームアイテムを購入して

ことだ」とメールしたら、最後にご利用された100円を払い

とがあるが、その他は購入していない。しかし、孫は私のク

④オンラインゲーム会社等は利用者の年齢を把握しにくい

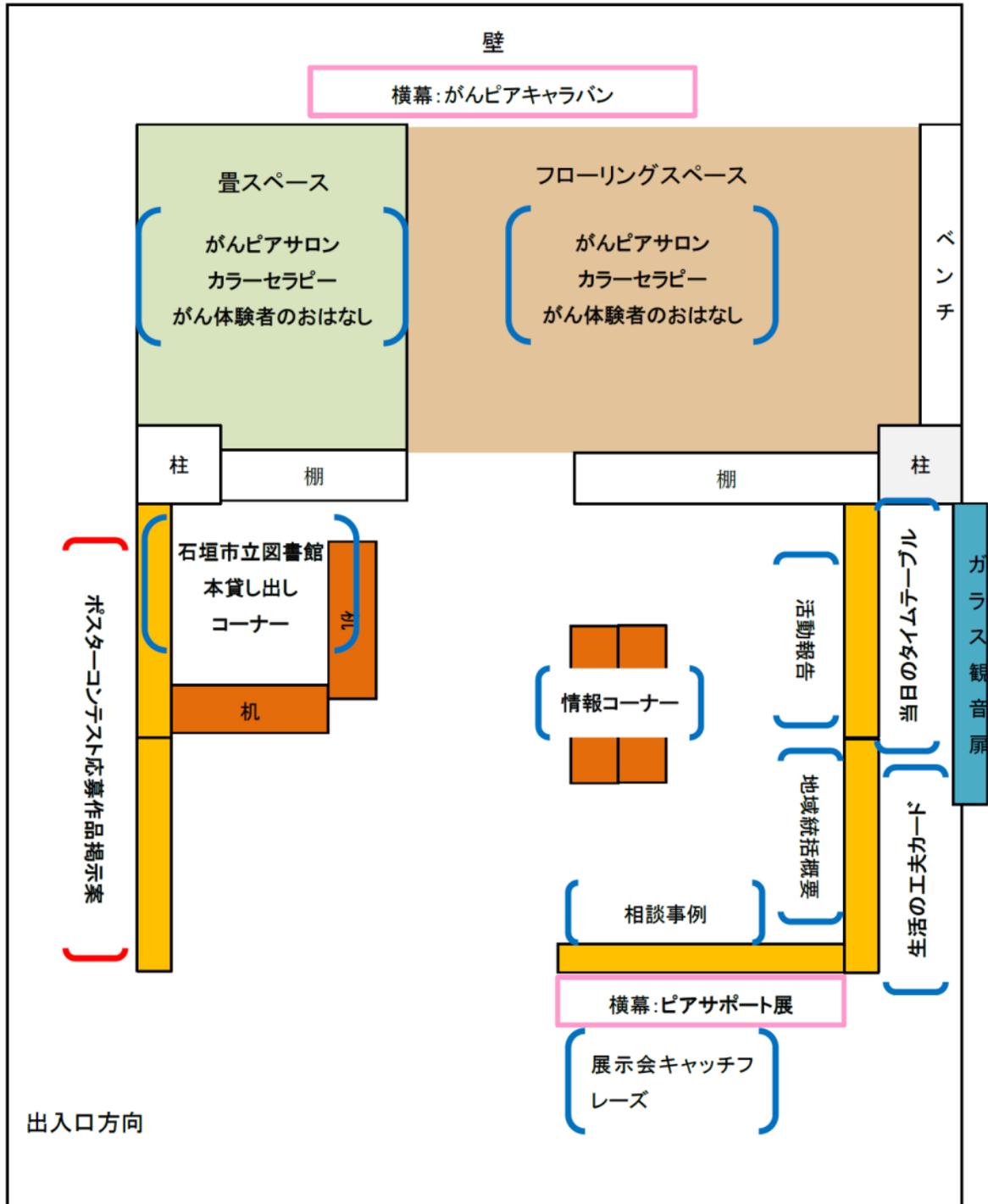
名前	所属	役職
増田昌人	琉球大学医学部附属病院 がんセンター	センター長
中山富美	沖縄県地域統括相談支援センター	相談員
仲田ひろ子	沖縄県地域統括相談支援センター	相談員
安里君代	沖縄県地域統括相談支援センター	事務補佐員
又吉未央	琉球大学医学部附属病院 がんセンター	事務補佐員

○ スタッフ役割分担

開始時刻	8:00 ～	9:00 ～			午前 午後	9:00 ～	11:00 14:00	11:15 11:45	16:00 ～
所要時間	60分 (45分) (15分)	終日	終日	終日	各 10分	終日	各 60分	各 30分	60分
プログラム 担当者	事前打合せ 会場設営	ピアサロン	ピアサポート展	情報コーナー	がん体験者のおはなし	図書貸出し	カラーセラピー	がんと診断されたら	片付け
やいま ゆんたく会	事前 打ち 合せ	ピアサ ポー ター							片付け
石垣市立 図書館 野底館長 新本様						図書展 示 貸し出 し			
増田昌人	事前 打ち 合せ	責任者	責任者	責任者	責任者	POP 作成	責任者	ミニ 講話	
中山富美		アドバ イザー					セラピ スト		
仲田ひろ子	設営 事前 打ち 合せ	アドバ イザー					セラピ スト		片付け
安里君代	設営	会場係	展示 説明係	展示	会場係	会場係	会場係 セラピー 補助	会場係	片付け
又吉未央	設営 諸対応	アンケート 準備 会場係 諸対応	展示 諸対応	展示 諸対応	会場係 諸対応	会場係 諸対応	会場係 セラピー 補助	会場係 諸対応	片付け

○ 会場レイアウト

会場レイアウトイメージ（健康福祉センターこどもセンター内）

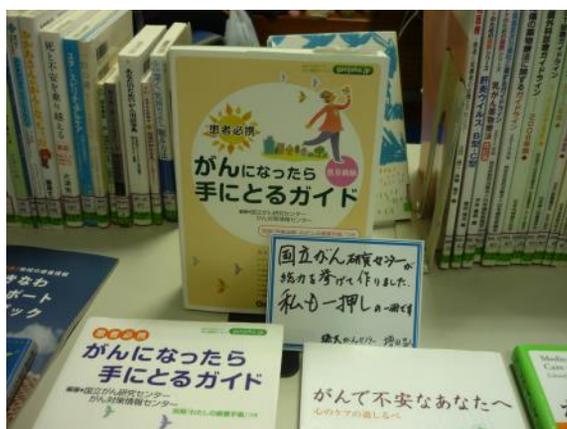


○ 当日の開催風景（図書貸出コーナー）

▼移動図書システムを持ち込み、145冊のがん関連図書が並ぶ貸出コーナー



▼意見交換で図書館から要望のあった「医師によるおすすめ図書」に応えた手書きPOPの数々



▼県立図書館借受図書の「がん対策セット」



▼石垣市立図書館所蔵図書



○ 当日の開催風景（サロンコーナー）

県地域統括相談員と地域のピアサポーターが協働し、ピアサポートを行った。がんと関わりのない人も立ち寄ることができるよう、カラーセラピーも実施した。当日の利用者は16名であった。

▼相談者と会話する石垣市のピアサポーターと県地域統括相談員（写真手前）
カラーセラピーをきっかけに病気の話しをする患者本人（写真奥）



▼サロンの様子 ピアサポーターが県地域統括相談員のピアサポートを受ける姿も（写真左奥）



○ 当日の開催風景（がんピアサポート展、情報ブース）

県地域統括相談支援センター主催「がんピアサポート展」。実際の相談事例を紹介して、活用の場面をイメージしてもらうことがねらい。がん冊子を並べた情報コーナーでは多くの人々が冊子を持ち帰った。



実施してよかった点

- ・地域関係者と協働したがん患者支援を具現化することができた。
- ・将来は自主的にピアサロンを開催したいと希望している地域の患者会に対し、一時的ではあるが機会を創出することができた。
- ・図書館との連携を模索していたタイミングで、本件はその第一歩と言える取り組みとなった。図書館からは、住民から「図書館にこんな本おいているんですね」という反応があり、貸出し冊数こそ少なかったものの広報により機会であった、との意見があった。

実施して改善すべき点（青字は所感、赤字は改善案）

- ・ピアサポート展でパネルを見る人の姿が少なかった。
- 「ピアサポート」という言葉そのものや、概念を知らない。
- ⇒まずはピアサポート等の支援体制がある事実を情報として伝える。認知には時間がかかるが継続的な広報をする。

- ・患者会に所属していない人のがん相談は1件のみだった。
- ・周囲から様子が見える場所でサロンを実施した。
- ・情報コーナーで冊子を集めて、素早く立ち去っていく人がいた。
- 患者や家族は地域の人に病気を知られたくないため、話したくない。病気の情報を集める姿を見られたくない。
- 県民性もあり、相談の場を活用することに躊躇する様子が伺える。
- ⇒プライバシーに最大限配慮し、個室でがんサロンを実施する。
- ⇒地域のピアサポーターが同席してよいか、相談者に確認する。
- ⇒事前予約制とし、あらかじめ相談室の場所を伝えておく。

- ・カラーセラピー目当ての利用が多く、がん体験者のおはなしが実施できなかった。
- ⇒サロンとは別に講演会等で体験談の機会を設ける。

- ・サロン利用者に向けたアンケートの回答数が少なかった。
- ・地域のピアサポーターの協力姿勢に、大きくバラつきが見られた。
- カラーセラピー利用が多く、アンケート内容がそぐわない。
- ピアサポーターにアンケート配布の周知が行き渡っていなかった。
- ⇒アンケート項目をピアサポートの認知とサロン利用に分ける。
- ⇒ピアサポーターに、サロン運営には準備や広報、集客等の総務要素があることを認識してもらう。
- ⇒ピアサポート基礎研修等を通じ、各人がピアサポーターとしての質を向上する。